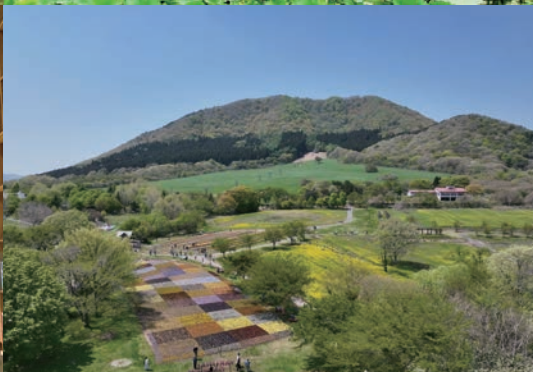




2024-2025 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

GOVERNOR:
Tsuyoshi SATO



7 月信 Vol.13
2025
JULY

2024-2025 最終号



一年以上を振り返って

国際ロータリー第2520地区
2024-2025年度 ガバナー

佐 藤 剛

Tsuyoshi Sato

普通は「一年を振り返って」というタイトルですが、ノミニー年度はまだしも、エレクト年度から結構な数の出席義務の行事がありました。全てに触れるとガバナー年度の内容に紙面を割けなくなる恐れもあるので、少しだけ就任前の話を加えさせていただきます。

2023年10月、肺癌の告知を受けました。保険屋さんから「佐藤さん、切除となればガバナー就任はまず不可能です。是非、陽子線治療の御決断を。」とアドバイスされ、郡山の南東北がん陽子線治療センターに入院し、抗がん剤とのセットで陽子線治療を始めたのは、「国際協議会壮行会」（12月3日）の4日後でした。そして2024年1月6日に仮出所。オランダで開催された国際協議会に出席し、帰国後再入院。入院期間が長かったおかげで三大セミナーに向けて様々な資料作成が出来たのは、今思うと天の采配。2月19日に退院し、23日には地区チーム研修セミナーで、本格的デビューとなりました。「エレクトは肺癌です。」なんて物騒なパワーポイントを投影しながら始めた講演は、聴く側からすれば相当ショッキングだったと思います。ただ、ガバナーは命懸けで任期に入るという事が、その場に居合わせたロータリアン達には強く印象に残ったと思います。

PETS、地区研修・協議会を経て、7月1日からガバナー年度が始まりました。7月6日が公式訪問初日で塩釜 RC にお邪魔しました。初めに塩竈神社にて御祈祷を受け、一年の任期を全う出来る様、神様にお願いしました。同様に、岩沼 RC 訪問時

も竹駒稲荷にて御祈祷を受け、地元の鎮守の森八幡様でも御祈祷を受け、3つの神様のご加護の下、11月7日久慈 RC で公式訪問を無事終了することが出来ました。

訪問先のロータリアンからは温かく迎えて頂きました。また、ガバナー補佐の皆様には公式訪問前にクラブを事前訪問していただき、各クラブの状況を詳しく報告していただきました。その報告書のお陰で、クラブを初めて訪問したような戸惑いは無く、旧知の仲同様に親しく語り合えたのは本当にありがたかったです。また、私が熱中症になり話がいつも通りにいかなかったところが1か所ありましたが、ガバナー補佐がガバナー以上に素晴らしい講話をされ、窮地を救って頂きました。

公式訪問では「ネクタイ無しで OK」という事にしました。「服装は自由で OK」にしました。DEI を形から入ろう、の具現化のひとつです。私も沿岸部の公式訪問では「がんぼうろ能登」の赤いTシャツで臨んだこともあります。DEI の話と共に必ず触れたのは「固定観念・既成概念からの脱却」でした。

また、地区内では9割以上のロータリアンがご存知なかった「ロータリー希望の風奨学金」の話もして歩きました。演壇で、ではなくテーブルを回っての講演も新しい取り組みでした。奇異な目で見える方もいらっしゃいましたが、「奇異な目で見えない事そのものが DEI」とも話した事もありました。

同じパワーポイントを使用し、全クラブで同じ講話をするのが通例であり、それがガバナーの役割、と RI 理事からお話がありましたが、私はクラ

ブの状況によって内容を少しずつ変えてお話させて頂きました。また、①ガバナー講話、②昔のロータリーの動画上映、を選んでいただきました。②は地区大会で上映したものです。76クラブ、合同開催がありましたので46か所の訪問を無事終える事が出来ました。東日本大震災を乗り越えて存続している沿岸部のクラブにおいては、「本日は公式訪問ではなく表敬訪問です。よくロータリーの灯をともし続けてくださいました。」という挨拶で講話を始めました。皆様本当にお世話になりました。

年が明けてからは、IMや周年行事で各地を訪問いたしました。山田RC60周年式典では、趣向を凝らした素晴らしい芸能、山海の大御馳走で参加者は大喜びしました。築館・佐沼RCの60周年式典では国内の姉妹クラブのみならず、台湾・韓国の姉妹クラブから多くの参加者があり、ロータリーインターナショナルを体感する良い機会となりました。ロータリー120年の歴史の半分を共に歩んだ60周年。節目の年でした。花巻RC70周年ではコンパクトな式典に敬意を表し、祝宴では「旅するピアノ」で弾き語りをさせて頂き、参加者の皆様にはお耳汚しでしたのですが、弾いた本人は有頂天でした。

IMについては、ガバナー補佐に「主幹クラブのやりたいようにやらせて下さいますようお願い申し上げます。前例等に拘らずに独自の新しい発想でのIMに期待します。」とお願いしておりましたが、期待以上に斬新かつ新たな視点での開催が多かったのは本当に嬉しい事でした。

そして地区大会。「なんとか時短は出来ないでしょうか？」というクラブの声を反映する努力をしましたが、時間は如何だったのでしょうか。地区大会開催中に齋藤實記念館や後藤新平記念館を訪問するよう奨励しました。姉妹地区の第3640地区33名全員が齋藤實記念館を視察に訪れた事は大きな感動でした。

2027年韓国はロータリー100周年を迎えます。

その資料を探す旅としての訪問でもありました。5月15-16日の第3640地区地区大会には、第2520地区を訪問していただいた半数の17名で参加しましたが、齋藤實記念館訪問の話に加え、合同でグローバル補助金のプロジェクトを始める話もあり、実り多い訪問となりました。

あっという間に駆け抜けた1年以上でした。財団寄付、ロータリー希望の風、大船渡大規模山林火災支援金に関して地区内の皆様、山林火災に関しては全国の皆様に多大なる御支援を頂戴しました。大船渡の被災された皆様に生活再建資金として、支援金を直接お渡しすることが出来ました。大船渡・大船渡西両RCの皆様、今泉ガバナー補佐、ありがとうございました。

心残りは、私の努力不足で会員増強が出来なかった事です。心からお詫び申し上げます。3-Year Rolling Goals 初年度の躰きをどうぞお許し下さい。

本日(5月30日)から札幌で開催される日台親善会議に行つて参ります。第2750地区地区大会でお会いした多くの台湾ロータリアン、第3640地区地区大会にRI会長代理として出席されていた洪清暉ロータリー財団理事、築館・佐沼の周年行事でお会いした台湾の方々との再会が楽しみです。

そして週明け6月2日から任期最後の一か月です。この原稿が皆様の目に入る頃には加藤ガバナー年度が始まっており私は直前ガバナーという立場になります。先輩として温かく御指導を頂きましたパストガバナーの皆様、我儘な私を支えて頂いたガバナー補佐の皆様、地区委員会に出向されていた皆様、ガバナー事務所の蛇口さん、佐々木さん、コ・ホストとして支えて頂きました奥州市内3クラブの皆様、水沢ロータリークラブの仲間達、心から感謝申し上げます。

2025-2026年度が加藤雄彦ガバナーの下、素晴らしい、そしてエポックメイキングな一年になりますようお祈り申し上げ御礼と致します。ありがとうございました。



カルガリー国際大会を振り返って

2024-25年度ガバナーエレクト

Onto Calgary 委員長 加藤 雄彦 (仙台 RC)

2025年6月21日、カナダ第4の都市・アルバータ州カルガリーへ第2520地区からロータリアンおよびロータリーファミリー総勢20名が集結し、名店「SALTNIK」にてガバナー佐藤剛様・裕貴子様ご夫妻を囲む“ガバナーナイト”が開催されました。このレストランはグルメランキングで常に上位に入る人気店であり、地元が誇るアルバータ牛のステーキやキングサーモンに舌鼓を打ちながら、参加者一同で国際大会の興奮を分かち合いました。

この夜には、現地の教育関係者6名にもご参加いただき、カルガリーの地域性や教育事情に触れる貴重なひとときとなりました。なお、飲み物代が食事代を上回ったことは、会話が弾み、時間を忘れるような楽しいひと時だったからです。

今回のカルガリー国際大会には、全体で約15,000名が登録、そのうち日本からの参加者は1,150名と、世界第3位の規模となりました。また、RI理事主催の朝食会には、460名の日本人を含む計529名が出席され、ステファニー・アーチック RI 会長に加えて、急遽会長エレクトに就任したフランチェスコ・アレツォ氏ご夫妻も参加されました。私たちガバナーエレクトにとって、RI 会長エレクトとの握手は重要な儀式の一つですが、アレツォ氏が満面の笑みで応じてくださったことが、ひときわ印象に残っています。

パートナーの智子とともに大会最終日まで参加し、ロータリーの理念を深く学び、世界各地のロータリアンと友情を育むことができたのは、まさにかげがえのない経験でした。

次回の国際大会は2026年、台湾・台北で開催されます。温かい人々、魅力的な台湾料理、歴史ある文化遺産——どれも魅力にあふれています。旅費も比較的手頃ですので、次はぜひ一緒に台北で世界のロータリアンと交流を楽しみましょう！



ガバナーナイト会場で



フランチェスコ・アレツォ 25-26 RI 会長と
加藤雄彦 25-26 ガバナー



第9回日台ロータリー親善会議 参加報告

ガバナー 佐藤 剛



日台親善会議は、2008年の第1回大会から2年毎に順調に開催されてきましたが、2020年3月福岡大会はコロナの感染急拡大により中止、その後、2022年5月にホテルニューオータニ博多で開催されるも、コロナが終息前だったため、台湾からの参加は無念にもリモート形式となりました。そして、第8回はマリオット台湾で久しぶりに通常開催され、900名が参加した盛大な大会となり、今回の開催に繋がりました。

5月30日(金)、サッポロビール園で前夜祭が行われ、日台の会員200名以上が参加し、ジンギスカンで生ビールを楽しみながら友情を深めました。後半にはオールディーズを演奏する生バンドも登場し、大いに盛り上がりしました。

5月31日(土)午後2時から、羽生大仁 PDG がファシリテーターとなり、オープンセッション「私達の友



情・日本と台湾」が、米山奨学生や RAC の台湾人アクター等により開催されました。本会議は、勇壮な「おたる潮太鼓」の余興で始まり、第2510地区出村知佳子ガバナーの点鐘の後、多くのロータリアンによる挨拶が続きました。その主な内容は、「お互いの国で自然災害が発生するたび、いち早く支援を開始し、その度に友情が深まっていった」というものでした。そして、来年の世界大会は台北(台湾)で開催されますので、日本から1万人のロータリアンが参加し、これまでの支援に対する恩返しも兼ねて大会を盛り上げようという呼びかけもありました。



2024-25 年度 ロータリー平和センターセミナー 参加報告

ロータリー平和フェローシップ・学友委員会

委員長 梶浦 正 (仙台レインボー RC)

2025年6月14日、国際基督教大学で行われた「2024-25年度ロータリー平和センターセミナー」に参加してきました。午前中の第1部では「第8回ロータリー平和センター・セミナー」、午後の第2部では「第23回ロータリー平和センター・年次セミナー」が行われました。

第1部の会では、ロータリー平和フェローの卒業後のロータリーのフォローや、その後のロータリーとの交流などの問題について話し合いがあり、私に関わっている財団学友会と同じような課題があると感じました。

また第2部の会では、フェロー第22期生9名の修士論文の発表がありました。あわせて第22期生と第23期生が東北研修旅行を体験したことについての報告があり、宮城・岩手ロータリアンの方々のおもてなしに感謝の言葉が述べられました。

私たちの地区ではまだロータリー平和フェローを輩出していませんが、「平和」について若い方々に国際的感覚を身に付けていただくことは、今後の国際社会にとって非常に重要なことです。当地区でもこのプログラムに挑戦したいと考えています。皆様からの志望者の情報を連絡していただければ、委員会の方で対応いたしますので宜しくお願いします。



フェロー第22期生



第28回 R I 日本青少年交換研究会・ 青森会議 参加報告

青少年交換(長期)委員会 委員長 佐々木 史昭 (花巻 RC)



スピーチコンテストで優勝したブラジルの生徒を囲む
全国の IB 生



東北・北海道 I B 生

去る6/7～8、青森市で開催された国際ロータリー日本青少年交換研究会・青森会議に、当地区から IB 生ジェイコブとロータリアン5名が参加しました。その前段に企画された東北多地区合同旅行にも、ジェイコブと青少年交換委員会から私と木村委員が参加し、秋田港からカーフェリーで苦小牧に入り、札幌～小樽～ニセコ～洞爺湖～函館～青森まで、東北・北海道4地区の IB 生8名とロータリアン12名、延べ20名が4泊5日にわたり大いに交流を深めました。青森会議においては IB 生日本語スピーチコンテスト決勝、青森ねぶたエクスカーショ、大懇親会が行われ、いずれも最高潮に盛り上がりました。

当地区の長期 IB 生は当初は2名でしたが1名が早期帰国しジェイコブのみ、東北他地区も小規模であり、多地区合同で行われるスキーキャンプ、スプリングキャンプ、合同旅行などは、各地区の魅力を高める非常に意義深い事業となっています。

7/1には加藤雄彦ガバナー年度がスタートし、2025-26年度青少年交換(長期生)の募集を開始します。

2025-26年度は短期派遣は行われず、受入のみです。長期生の募集要項とポスターを地区内全高校宛てに郵送し、写しを全クラブにメールしております。ぜひご確認いただき、前向きにご検討頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。



2025-26 年度募集ポスター

2025-26 年度 青少年交換長期派遣候補生

8月に各自出発し留学期間は約10カ月です

所属学校	推薦クラブ	派遣先
常盤木学園高	仙台南 RC	D.1520 (フランス)
花巻北高	花巻 RC	D.5960 (アメリカ)

募集要項 QR コード





青少年交換短期派遣 報告

青少年交換(短期)委員会 高橋 範行 (北上和賀 RC)

3月13日～26日の2週間、派遣生5名、ロータリアンからは佐藤仁(仙台南 RC)と高橋範行(北上和賀 RC)の合計7名のチームで、オクラホマ州の第5750地区へ行って参りました。

異国の文化の中で過ごす2週間は貴重な体験です。普段接することの無い同世代の高校生やロータリアンとのコミュニケーションには、高校生にとって特別な学びがあると感じました。それは参加した我々ロータリアンにとっても同様で、オクラホマのロータリアンのホスピタリティを肌で感じる貴重な経験となりました。

本プログラムは、第5750地区との友情の上に成り立っている私たちの地区独自のプログラムであり、多くのロータリアンに支えられて、次々年度には50周年を迎えます。本年度、両地区のガバナーおよび交換委員会での協議により、次年度より本プログラムは派遣・受け入れを隔年で開催することが決定されました。会員減少等にかかわる予算の問題が主たる要因ですが、時代・世代の変化と共に、このプログラムもまた変化を余儀なくされているのです。

ロータリアンの温かい友情と繋がりのもとで、派遣生たちの成長を間近に見る事ができるこのプログラムは、特別なものです！ よりいっそうのご関心、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



前列左：佐藤仁 / 青少年交換短期委員長 (仙台南 RC)
その後ろ：高橋範行 / 青少年交換委員 (北上和賀 RC)

きくち いくま

菊地 生真 白石高校1年 推薦 RC : 白石 RC

※学年は派遣時

私がオクラホマで1番楽しかったと感じたことは、沢山のアメリカンフードを食べたことです。アメリカンフードは日本とは味の濃さやボリュームが段違いで、はじめはお腹が破裂するかと思いましたが、食べていくうちにハマっていき、自分にパワーを与えてくれる最高の食事になりました！

また、メトロテックに行ったことも印象に残っています。メトロテックでは多くの飛行機やヘリコプター、エンジンなどの航空機械を見ることができました。これらの体験は、将来大学で何を学ぶかを考える良いきっかけになりました。



サヨナラパーティ！皆さんの優しさに感謝できた最高のパーティでした！ありがとうございました！

多くの芸術作品に触れられたこともまた、良い経験でした。オクラホマには沢山のアートがあり、美術館だけでなく、街の壁にまで絵が描かれていて、オクラホマそのものがまるでアートのようでした。

そして何よりも、現地の方々の優しさに触れることができたことが最高の思い出です。初対面の人とも仲良くなれる温かさは、日本人の丁寧さとは違った良さがあると思いました。

このプログラムを通して、アメリカ文化や人々の良さ

を知ることができ、さらに日本についてもしっかり考えるきっかけにすることができました。私を成長させてくれたプログラムを提供していただいたロータリーの皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。

や む ら り さ

谷村 理紗 盛岡第一高校 2年 推薦 RC : 北上 RC

このプログラムを通して、私は学んだことが3つあります。1つ目は、文化の違いを受け入れることの重要性です。現地に着いてからは、日本の生活習慣や文化との違いに驚くことも多くありましたが、現地の人と交流することで、お互いにその違いを理解し合うことができました。また、ホストファミリーと過ごす中で、日本文化についてたくさん聞かれ、理解してくれようとしてくれたことがとても嬉しかったです。2つ目は、積極性の大切さです。現地では自ら積極的に会話したり質問したりして、有意義な時間を過ごすことができました。また、何をしたいのかという意思表示をはっきりすることができ、その方が相手にも喜ばれ、互いに関係が深まるということを学びました。3つ目は、人との繋がりです。2週間という短い時間の中でたくさんの人と出会い、ロータリーの広い繋がりを実感しました。また、ホストシスターとは今でも連絡を取り合う仲で、このプログラムで得た様々な関係性をこれからも大事にしたいと思いました。

「愛される努力をし、そして、愛される前に愛す」。留学前に学んだことで最も印象に残っている言葉であり、留学中に1番実感したことです。また、留学前に感じていた不安がもったいなく感じられるほど充実した時間を過ごし、名前も聞いたことがなかったオクラホマという州を実際に深く知ることができました。このような貴重な経験をさせて下さりありがとうございました。

き む ら は な

木村 羽菜 花巻北高校 2年 推薦 RC : 花巻 RC

短期留学では、アメリカの文化を肌で感じる事ができ、貴重な経験となりました。ホストファミリーと共に生活し、日常の中で温かい交流を重ねることができました。特に印象に残っているのは、夜に一緒にジブリ映画を観たり、マリオパーティのゲームで盛り上がったり、ダンスパーティを楽しんだ時間です。さらに NBA の試合を生で観戦したことや、広大な自然の中で乗馬体験をしたことも忘れられない思い出です。30分ほどの乗馬でしたが、地平線が見えるような景色の中で馬と過ごす時間はとても特別でした。また、アメリカの食文化や生活習慣の違いにも驚かされました。食事を残すことに対してあまり気にしないという考え方や、食べ物・日用品のサイズの大きさ、カウボーイハットをかぶった人が街中にいることなど、「本当にアメリカに来たんだ」と実感する場面が多くありました。空港やスタジアムで声をかけてくれる人も多く、言葉が完璧でなくても、気持ちを伝えようとする姿勢があれば十分にコミュニケーションできると学びました。



Golden hour. カメラの向こうには広大な庭と夕日が広がっています！



スーパーで撮った写真で、ホストファミリーとの仲が深まったきっかけの日です！

異なる文化や価値観に触れたこの経験を通して、物事を多角的に見る視点と、自ら積極的に関わる姿勢の大切さを実感しました。今後もこの学びを大切にしていきたいです。

しまづ り さ

島津 里彩 花巻東高校 1 年 推薦 RC : 北上和賀 RC

私がオクラホマで 1 番思い出に残っていることは、博物館に行ったことです。今まであまり知らなかったカウボーイやインディアンのことについて知り、日本史だけでなく、世界史にも興味をもつ良いきっかけとなりました。今後、高校で世界史の授業を受けていくなかで、教科書に載っている歴史をただ勉強していくのではなく、その片隅にある一つひとつの民族や出来事についても調べて自分の興味を追求していけるよう、学習に励みたいと思います。

また、日常のなかでオクラホマの方々が「褒めてくださったこと」も印象に残っています。ホストファミリーなど直接関わった方だけでなく、レジの定員さんだったり、ネイルサロンで隣にいた人だったりと色々な人が服やネイルを褒めてくれました。私なら会ったばかりの知らない人を褒める勇氣はありません。オクラホマの人々がとても優しいことを実感できた経験でした。



私が最も気に入っている写真は、アメリカで最初買ったスタバのドリンクの写真です。注文したものは別のドリンクが出されたのですが、なんとか英語で注文することができた安心と、初めて現地で英語を使えたという達成感がこの一枚に詰まっています。

私はこの留学を通して、絶対に感謝を忘れない人間になりたいと思いました。当たり前の事なんてこの世にはなくて、すべての背景にはたくさんの人たちの力があつたということを日々考え、感謝の気持ちを行動にしていきます。この留学での体験は私にとって宝です。ご支援してくださり、本当にありがとうございました。

あさかわ こなつ

浅川 小夏 一関第一高校 2 年 推薦 RC : 北上西 RC

今回の留学では、出発前に抱いていた不安は一切感じることなく、毎日が新鮮で充実した時間となりました。ホストファミリーをはじめ、現地の方々は皆とても温かく接してくださり、彼らの優しさに触れるたびに、オクラホマが大好きになっていきました。今でも現地で出会った友人たちとは連絡を取り合っており、国を超えた絆が生まれたことを実感しています。



ポンカシティのホストファミリー！かわいい双子ちゃんと遊ぶのがとっても楽しかったです。

また、多くの博物館を訪れ、美術作品からカウボーイの歴史まで幅広く学び、文化への理解が深まりました。中でも NBA の試合を観戦した体験は非常に印象に残っており、現地の熱気と一体感に心を動かされました。留学前の自分と比べて、今ではどんなことにも積極的に挑戦する姿勢が身につき、大きな成長を感じています。このプログラムは非常に有意義で、他に類を見ない素晴らしい機会だったと心から思います。

最後に、この貴重な体験を支援してくださったロータリー関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



青少年交換短期「ロータリーの翼」来日生 受入れレポート

青少年交換(短期)委員会

委員長 佐藤 仁 (仙台南 RC)

この6月、ラリー＆アナ・デイヴィス夫妻を団長とする 第 5750 地区インバウンドチーム 8 名を迎え入れました。昨年、一昨年に引き続き、仙台・盛岡・花巻北上エリアを 2 週間で縦断するプランを枠組みとし、各地の特色豊かな受け入れ行程を立案しました。また、後半の 3 日間は従来の東京観光ではなく、仙台育英学園において学生交流を主体とした計画を実施していただきました。

この濃密な 2 週間を走り抜けてあらためて思うことは、関わっていただけたロータリアンのポテンシャル、そしてそのパワーの化学反応の素晴らしさです。まさに、比類無い「ロータリーの翼」のマジック！ 時間を超過してしまうほどだったサヨナラパーティー。そこでの笑顔や涙は、何ものにも代え難い交流の深さを物語っておりまして。

力をお貸しくださいましたロータリアンの皆様とそのご家族、関わっていただけたすべての方に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



仙台育英学園書道部にて書道体験、パフォーマンスを間近に観る！



平泉歴史地区を巡る。佐藤ガバナーも参加！



浴衣に着替え、櫻山神社でさんさ踊り体験



名取の防風林の除草活動に参加



サヨナラパーティー@グランシェール花巻



地区ローターアクト年次大会報告書

R A代表 大宮 遼太 (仙台泉 RAC)

去る5月31日(土)、「東北大学 川内北キャンパス」におきまして、「国際ロータリー第2520地区ローターアクト第49回地区年次大会」を開催致しました。当日は、柴田茂ガバナーノミニーをはじめとするロータリアンの皆様、20名、ローターアクトメンバーが26名のご参加、そしてご来賓として仙台市長であります郡和子様にもご臨席を賜り、今年度の活動報告や次年度の地区代表からのご挨拶を頂戴致しました。

本大会のテーマは「語り継ぐ伊達の心～私たちが紡ぐ次の100年」と致しました。仙台泉ローターアクトクラブが発足して3年目、初めてとなる地区代表年度を務めさせて頂くにあたり、多くの皆様方のご協力と、仙台泉ローターアクトクラブのメンバーが力を合わせて活動を行って参りました。また本大会のメインプログラムには、仙台の名所であり「青葉城址」の見学バスツアーを開催致しました。当日は生憎の大雨でございましたが、その歴史を学びながら皆様方との交流を深めて参りました。

この地区代表年度は、私たち仙台泉ローターアクトクラブが大きく成長出来た年であり、その集大成として本大会を開催出来た事に喜びを感じております。この経験を、この先の10年、100年と続く活動の糧とし、歴史を紡いで参りたいと思います。改めまして、本大会にご参加頂きました皆様方、私たちを支えて頂きましたロータリアンの皆様方に御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



第1分区インターシティミーティング開催報告



I M実行委員長

鈴木 裕子 (盛岡北 RC)

第1分区インターシティミーティングは、盛岡北 RC をホストクラブとして、令和7年5月24日(土) ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングに於いて開催されました。

当日は、佐藤剛ガバナーをはじめ柴田茂ガバナーノミニー、早坂竜太ガバナーノミニー・デジグネート、区内のバスターガバナーの皆様をお迎えし、第1分区11クラブの登録者を合わせ、総勢156名の登録をいただきました。

佐藤剛ガバナーには、記念卓話として、ロータリーのありかた、現在の状況などを大変分かり易く、そして楽しくお話いただきました。

I Mのテーマは、「DEI (多様性、公平性、包括性) を学ぶ」とし、「学びの場」として、岩手医科大学脳神経内科医学博士、日本頭痛学会理事の工藤雅子先生に「片頭痛から学ぶ女性のQOL (クオリティ・オブ・ライフ)」と題してご講演をいただきました。身近であるが故に軽く考えがちな片頭痛の原因や対策について学び、頭痛が体の出す大切なシグナルであると認識を新たにしました。

次に「親睦・交流の場」として盛岡芸妓の皆様による華麗な祝舞で幕が開けられました。交流会では「マグロの解体ショー」のアトラクションがあり、皆様に新鮮なマグロのにぎり寿司を堪能していただきました。各テーブル大いに盛り上がり、親睦を深めていただいたと思っております。

多くの皆様のご協力で、盛況のうちに幕を閉じることができましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



記念卓話をされる佐藤ガバナー

佐沼ロータリークラブ創立 60 周年記念式典 開催報告

佐沼ロータリークラブ 会長 太田 陽平

令和 7 年 5 月 17 日に佐沼ロータリークラブ創立 60 周年の式典・祝賀会を皆様のご協力のもと無事開催できました。大変ご多用の中、RI2520 地区ガバナー佐藤剛様、登米市長熊谷康信様、ガバナーエレクト加藤雄彦様、ガバナーノミニー柴田茂様、仙台 RC 会長安曇謙三様をはじめ、多くのロータリアン、ご来賓の皆様にご臨席賜り心より御礼申し上げます。加えて、台北西門 RC、川崎大師 RC、余目 RC の姉妹クラブの皆様にご来訪いただき感謝の念に堪えません。

1964 年に仙台 RC をスポンサーとして創立されました当クラブですが、60 年の歩みの中で、東日本大震災では世界中のロータリアンの友情を実感し、ロータリーの力を再認識いたしました。また、2007-2008 年度には八谷郁夫会員がガバナーを務められ、今なお多方面でご活躍されています。

本年度は「ロータリーの活動で自分を変化させよう」をテーマに掲げ、青少年育成事業や社会奉仕、会員増強などに取り組んでまいりました。

記念事業では、登米市立図書館への図書寄贈、佐沼高等学校定時制課程へ 10 万円寄付、ロータリー財団と米山記念奨学会への特別寄付を行いました。

この節目を新たな出発点とし、70 周年、100 周年へと繋げてまいりたいと思います。今後とも皆様のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。誠にありがとうございました。



鏡開き：左から佐藤剛 G、鈴木賢 PG、太田陽平会長



合同集団メイクアップ 実施報告

古川ロータリークラブ 会長 筒井 俊明

佐藤剛ガバナーの基本方針のひとつである『メイクアップに出掛けよう（新たな出会いで喜びを）』を实践すべく、5 月 15 日（木）に古川 RC と古川東 RC の有志で、岩出山 RC の例会へ合同集団メイクアップを実施しました。

自己クラブを欠席していない会員にも参加を呼び掛けたところ、古川 RC 7 名、古川東 RC 10 名の合計 17 名の参加者がありました。

当日は岩出山 RC の通常例会ですので、会長報告やゲストスピーチをお聞きした後で、訪問した両クラブの会長からも挨拶させて頂きました。大人数での訪問に対して快く受け入れて頂いた小埜寺敏文会長をはじめとして、岩出山 RC の会員の皆様に改めて感謝申し上げます。また古川東 RC の高橋克幸会長には趣旨にご賛同頂きありがとうございました。

メイクアップ要件が緩和されて以来、なかなか他クラブを訪問する機会が減っている中で、他クラブの例会を体験して交流を深めることができる素晴らしい機会となりました。また、例会の具体的な進行や細かい点で微妙な違いを発見して大変勉強になりました。

今後もこのような相互訪問を継続していきたいと思うと同時に、日本各地の遠方のクラブや海外のクラブの例会にも是非出席してみたいと思いました。



奨学生レポート

ロータリー財団
グローバル補助金奨学金奨学生

石川 智彦

Ishikawa Tomohiko

不注意で調理中に左親指を深く切っしまいました、こちらに来て初めて病院を受診しました。救急外来受診の翌日に専門家の医師の診察を受け、腱が切れている可能性があるため将来的な機能回復のために手術を勧められました。高額な医療費を請求されるのではないかと、全身麻酔の手術でなにかトラブルが起こりうるのではないかと、といった心配も少しよぎりましたが、手術をするなら早めが良いとのことで、負傷から3日後に日帰りで手術を受けました。やはり腱が切れており縫合修復を行ったとのことでした。左親指はしばらく嚴重に固定する必要があり、生活は大変不便ですが、手術の2週間後からは作業療法士によるリハビリもスタートしました。完全に元通りにはならないかもしれない、十分に機能が回復するには数ヶ月から数年単位かかるといったお話でしたので、気長にリハビリを行うつもりです。上記によって研究は少しペースダウンした面もありますが、ボランティアの Gonzalo 君や同僚の助けもあり研究もあまり遅滞なく行うことができます。(2025年4月報告)



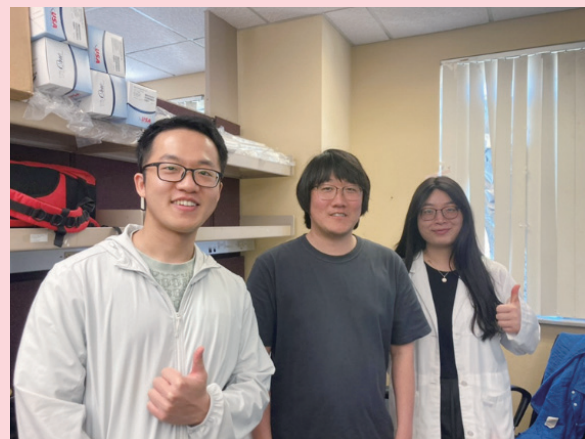
東北大学耳鼻科の先輩でボストンへ留学されていた六郷先生が帰国直前にサンディエゴを訪れてくださり、その際に家族と食事をしたときのもの

東北大学大学院修了。カリフォルニア大学サンディエゴ校薬学部ムアーズがん研究所。

ホスト地区：第5340地区（米国カリフォルニア州）

ホストRC：La Jolla Sunrise RC

左手指の負傷に対して手術を受けてから約3ヶ月が経過し、完全ではないもののあまり日常生活に不自由はなくなってきており、手術をしてくださったドクターと継続的にリハビリを行ってくださっている作業療法士の方にはとても感謝しています。妻・娘ともに5月末で今年度の通常授業が終了して夏休みに突入しましたが、変わらず元気に過ごしています。研究は割と順調に進めることができています。1、2ヶ月以内にはこちらに来て初めての論文を投稿できるよう準備を進めています。また、新たな実験手法導入のため、Los AngelesのUniversity of Southern CaliforniaにあるLin Labを訪れる機会を得ました。こちらのラボはマウスや患者由来の腫瘍の3次元培養を得意としており、私のボスと訪問先のラボのボスが友好的関係であることから本訪問が実現しました。細かい実験手技などを学ぶために訪問したのですが、大変快く迎え入れてくださり、あらゆる質問に丁寧に答えてくださいました。今後も定期的に訪問してコラボレーションを行っていく予定です。(2025年6月報告)



University of CaliforniaのLin Lab訪問時。左からgraduate studentのTianmingさん、私、Huo博士

第 3640 地区 地区大会に参加して

塩釜ロータリークラブ

水野 暢大

5月15・16日、姉妹地区第3640地区（韓国）の地区大会に参加いたしました。

第3640地区は、ソウルを流れる漢江の南側に位置し、ソウルの富豪が多く所属しており、会員数は3,640人に迫る勢いで毎年拡大しています。大会はまるでお祭りのような華やかな雰囲気でした。

5月13日、仁川国際空港で趙ガバナーをはじめ多くの会員の皆様が温かく出迎えてくださり、その夜には盛大な歓迎会が催されました。

翌日のRI会長代理歓迎晩餐会は、ソウル近郊のトクソにある「プラウム楽器博物館」の庭園で開催されま

した。映画のロケ地にもなっている有名な場所で、以前ソウル世界大会の折には第2520地区の歓迎会も行われた場所です。当時の菅原裕典ガバナーの同期ガバナーの所有で、韓国財閥の雰囲気が漂う特別な会場でした。

地区大会は、江南にあるエリエナホテルで開催されました。第3640地区ならではの豪華な内容で、前座からプロの歌手による歌唱や打楽器の演奏が披露され、圧倒される演出でした。大会では、第3640地区が誇る役員の皆様が

次々と挨拶をされました。2026-27年度RI会長に選出された、新漢陽RC所属のユン・サング氏のスピーチは非常に熱のこもったものでしたが、韓国語でしたので残念ながら内容はわかりません。そのような中、乾杯のご挨拶を日韓親善委員長である桑原茂パストガバナーが務められことは、我々第2520地区にとって大変名誉なことでした。地区大会終了後には、第3640地区からの熱烈なご提案により、同ホテル内でサヨナラパーティーが開催されました。日韓親善委員長の金様のお取り計らいによるもので、さらなる親睦を深める場となり、夜更けまで盛り上がりました

最後になりますが、第3640地区より、グローバル補助金事業を共に実施しようとの提案がありました。詳細は追って発表いたしますが、地区内クラブの皆様でご興味のある方は、ぜひお声がけいただければ幸いです。

国際ロータリーは、国際的なつながりを通じてこそ世界に貢献できる組織です。

来年も同じく5月14日・15日に第3640地区地区大会が開催されます。第2520地区から一人でも多くの方にご参加いただき、友情と交流を深め、ロータリーの奉仕理念に触れる機会としていただければと思います。



桑原茂パストガバナーのご発声で乾杯

ガバナー補佐あいさつ ～一年を振り返って～



第1分区

齋藤 豊
(久慈 RC)

本年度、第1分区のガバナー補佐として7月18日の種市 RC 様を皮切りに各クラブを訪問しガバナーと地区の方針、事業などについて説明させて頂き、ご意見を伺って参りました。他クラブでは、あまり交流する機会のなかった多くの会員の皆様と厚誼を深める機会を与えて頂きました。また、それぞれのクラブの特色、例会の進め方や工夫、様々な活動への取り組みなど、多くのことを学ぶ良い機会を与えて頂きました。おかげさまでガバナー補佐としての1年間を楽しく活動をすることができました。皆様には心より感謝申し上げます。ただ IM には役目を頂いていながら出席できず担当クラブ様にはご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

次年度もガバナー補佐を務めさせていただきます。各クラブとの連携を強め、クラブ訪問を通じて地区とクラブ間の情報共有、連携を深めるように努めて参ります。皆様には引き続きよろしくお願いいたします。最後にロータリーの皆様への感謝と今後の活躍と健勝、そしてクラブ間の交流が深まることをご祈念申し上げ活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。



第1分区

田村 清記
(盛岡北 RC)

国際ロータリー第2520地区2024-2025年度の第1分区盛岡8クラブ担当のガバナー補佐として佐藤剛ガバナーのご指導の下、各クラブの会長・幹事の方々にご協力を頂き、無事にガバナー補佐を務めることができました。私にとって非常に貴重な経験になりました。皆様に心から御礼を申し上げます。

各クラブ訪問では、会員の皆様には心温かくお迎えいただき、深く感謝いたします。クラブの特色を生かされた例会は各クラブとも素晴らしい例会運営でした。会員の皆様と直接お話をすることで、各クラブの取り組みや課題を理解することが出来ました。ガバナー公式訪問では、人を惹きつける佐藤剛ガバナーのお話を各訪問クラブで聞く機会に恵まれたことも貴重な経験でした。

私の所属する盛岡北 RC で担当させていただいた6月のIMに際しては、第1分区の多数の会員の皆様にご出席いただき、無事開催できました。ガバナーからも「IM 良かったよ」と声をかけていただき嬉しく思いました。

この一年間の経験を通じて、多くの方々との出会いと学びがありました。一緒にいると心地よく、ほっとする。そんな時間を共有できる人々の集まり。素晴らしい友情とネットワークがロータリーにはあると思います。今後も、各クラブが素晴らしい活動を通じ、ますます発展されることを心からお祈りいたします。第1分区の皆様、一年間本当にありがとうございました。



第2分区

伊藤 晴友
(北上和賀 RC)

第2分区花巻北上ゾーンのガバナー補佐を務めさせていただき、早くも一年が過ぎました。

補佐訪問では、6クラブそれぞれの会長をはじめとする皆様から、継続事業や本年度の新たな取り組みについてご報告をいただき、各クラブが特色ある素晴らしい事業を行っていることを知ることができました。ガバナー公式訪問の際には良い報告が出来、嬉しく思っております。

今年度のIMは、北上 RC の主幹により3月23日に開催されました。「身近な課題は宝の山」というテーマのもと、パネルディスカッション形式で各ゾーンから活動報告や共通する課題について意見交換が行われ、進化への一歩として、会場がひとつになったIMではなかったかと思っております。

年度末の6月には、オクラホマから青少年短期交換生が来日しました。来日生を受け入れて頂いたホストファミリーの皆様に感謝申し上げます。来日された青少年の皆さんが日本の文化を深く愛し、再び日本を訪れたいと語っていた姿に、次世代への支援活動の意義と大切さを改めて感じました。

ガバナー補佐を引き受けたことで、改めてロータリーを学び勉強する一年でございました。佐藤剛ガバナーや各クラブの皆様方のご指導に感謝申し上げます。ありがとうございました。



第2分区

三浦 滋
(前沢 RC)

あっという間の一年でした。佐藤剛ガバナーはじめ、沢山の皆様のご支援、ご指導に心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐は藤崎三郎助 PG の年度に続き二度目です。管轄は前回と同じ、以下の4クラブです。各クラブへの訪問はガバナー公式訪問の直前と年度末の2回でした。

一年を通してわかったこと、感じたことをご報告させていただきます。

【水沢 RC】 佐藤剛ガバナー輩出クラブで、会員数16名（新入会員3名）という少人数のクラブながら、全会員が一体となり地区大会は大成功でした。一番記憶に残ったのは東京 RC の創立間もない頃の無声動画を佐藤剛ガバナーの解説で鑑賞出来たことです。殆どの会員は政界、財界で活躍していて、黒塗りの車で集合し、着飾った奥様方と楽しそうな地区大会の模様や、ポール・ハリス、米山梅吉等の動く姿も初めて見ました。

【奥州水沢東 RC】 会員数32名。4クラブで一番人数が多く、特に若手会員が多いことが強みです。財団では、今期、菊池清信会長はじめ4名がマルチプル・ポール・ハリス・フェロー（MPHF）の認証を受けました。地区補助金を活用し、大船渡地区山林火災の被災地を見舞い、支援金を届ける。数力所子ども食堂には前沢牛を届け、又、集会所にはエアコンを設置する等、沢山の奉仕活動を行っている理想的なクラブです。

【岩谷堂 RC】 会員数10名。とにかく仲が良い。例会出席率常時80%以上で100%もめずらしくない。長期にわたり沢山の図書を寄贈し、全国図書館協会から表彰を受けました。慰安旅行は一泊で、山形に奥様同伴で、何と全員で行かれたそうです。

【前沢 RC】 会員数11名。前沢地区センター主催成人健康増進プログラムに協賛。前沢牛の博物館の庭園整備、ペットボトル収集、小谷木橋清掃など地域に密着した活動を行っている。会員の高齢化が進み、活動はやや停滞気味です。

一年間頑張りましたが、至らないことも多々あったと思います。この場をお借りし、お詫びと、重ねての御礼を申し上げます。



第3分区

小野寺 勘治
(一関中央 RC)

2024-2025年度第3分区のガバナー補佐に指名されて一年間活動してきましたが、初めての経験であり、研修会、協議会など一年を通じて様々な会議があり、他の分区のガバナー補佐との意見交換などを通じて勉強しながら、ガバナーの意向に沿うよう、なんとかそれなりに完走できたかなと思っています。

中でも一番の仕事は、佐藤ガバナーの公式訪問を無事に迎えることであり、それに備えて、第3分区一関地区内の4クラブの会員に訪問日程等周知、会場設営等準備するため、担当する一関 RC、花泉 RC、平泉 RC 各クラブの例会へ訪問し、状況等情報収集を行い、資料をガバナー事務所へ提出することでした。各クラブの状況を把握するとともに電話等で密接に情報交換しながら、4クラブ合同例会の式次第の作成、参加者の調整、会場手配、役割分担などを行い、予定どおりに終了できました。

次に、IM についてですが、担当クラブが平泉 RC であることから、何をテーマにするかなど協議したところ、平泉 RC 主催で一関 RC が支援する形で、2月15日（土）に実

施することにし、これも予定通り終了できました。

また、今年度は一関中央 RC 創立 30 周年に当たり、11 月 30 日（土）に記念式典を行うため、準備にも携わり、無事終了することができました。

何かと忙しい一年でしたが、無事終了できたことが何よりと思っています。皆様のご協力に感謝申し上げます。



第3分区

今泉 直喜
(気仙沼 RC)

沿岸 6 RC（大船渡・大船渡西・陸前高田・千厩・気仙沼・気仙沼南）を担当し、昨年 7 月に各クラブを訪問して、報告書をガバナー事務所に提出致しました。

9 月 3 日の千厩 RC、19 日の合同気仙沼 RC・気仙沼南 RC、26 日の合同大船渡 RC・大船渡西 RC・陸前高田 RC の公式訪問に同行しました。会長幹事会では、進行を担当しました。また、26 日の会場で、能登大雨災害の募金が行われました。10 月 22 日には、千厩 RC の恒例「もみじ例会」と創立 60 周年式典が開催され、沿岸 6 RC で和気あいあいとお祝い致しました。11 月と 12 月に 2 回目の訪問を致しました。

2 月に大船渡大規模山林火災が発生し、各地区からの支援金が寄せられました。ガバナーから、大船渡 RC と大船渡西 RC に対して、「役所に任せず顔が見える配布の仕方をする」と依頼がありました。両 RC が協議し、5 月 24・25 日に配布手続きをして頂きました。両 RC には感謝申し上げます。

5 月と 6 月に 3 回目の訪問を致しました。各 RC を訪問したことを、今後の活動の参考にしたいと思っています。



第4分区

中田 義仁
(釜石東 RC)

ガバナー補佐に就任して、各クラブの例会を訪問する機会があり、クラブの特色ある取り組みや地域に根差した活動に触れ、ロータリアンの皆様の熱意に大いに刺激を受けました。また、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、デグジネートと近い距離でお話することができたことは、私にとって大きな財産となりました。

さらに、IM やロータリーデーを通じて、クラブ間の交流がより深まり、地区全体の連携の重要性を再認識しました。特に、先輩方のご活躍や若い方の新しい視点からの提案が印象的で、今後のロータリーの可能性に大きな希望を感じています。この経験をこれからのロータリー活動に活かしていきたいと思っています。

第 4 分区のロータリアンの皆様の支えと協力をいただいた一年に心より感謝申し上げます。今後も、地域社会とのつながりを大切に、クラブの活性化に向けて共に歩んでいければと願っております。



第4分区

寺崎 勉
(宮古 RC)

1. ガバナー補佐活動

- ① 8/9 佐藤ガバナー公式訪問 3 クラブ合同。3 クラブの現状課題について情報交換を行った。講演では 2024-2025 年度 R I 会長方針と佐藤ガバナーの熱い思いを参加メンバーに伝えることができた。
- ② 11/30 山田 RC60 周年記念式典。60 年間の活動報告と交流会。地域に伝わる祭り団体との饗宴の中で、山田 RC が地域に密着したクラブであることを発信できた記念事業であった。
- ③ 4/26 第 4 分区 IM。地区から柴田ノミニ参加。各地の郷土の歴史と偉人を発掘。改めて郷土を見直す機会になった。
- ④ 4 クラブ合同親睦ゴルフコンペを実施。
- ⑤ 第 2520 地区行動計画推進会議への参加奨励。

⑥地区行事への参加奨励。

2. 各クラブ訪問しての所感

- ①宮古 RC 地域の老舗クラブとして、歴史と伝統を感じさせるクラブ。大きな組織数を保ち、例会の開催や地域への社会貢献、そして会員親睦やアクトの育成にも力を注ぐ。今年度は新たに「子ども食堂」支援に取り組み、成果をあげている。
- ②宮古東 RC 会員に対するロータリー活動の研鑽を地道にかつ積極的に行っている。また他地域 RC との交流も積極的であり、さらに本年度は第 4 分区の親睦活動（ゴルフ）を開催し成果をあげている。
- ③山田 RC 東日本大震災で大きな痛手を受けたクラブ。「やまだの作文」の継続実施や図書の寄贈を継続的に実施。また地域の郷土芸能の活動発展に大に関わり、諸団体への支援や活性化を通じて RC の地名度を上げている。



第5分区

三浦 富次
(石巻西 RC)

第 5 分区石巻ゾーンのガバナー補佐を拝命して、まず考えたことは、石巻東、石巻西、石巻南の 3 クラブ間の交流をこれまで以上に図り、ロータリー活動を活発化させて、石巻地区のロータリアンを増やし、さらなる奉仕の活動につなげられたら良いということでした。

西クラブの会長の発案により、3 クラブ対抗のスポーツ大会を開催しました。パークゴルフ、ボウリング、ゴルフと、いずれも大いに楽しむことができ、交流・親睦においてこれまで以上の成果が得られたと思います。

ガバナー公式訪問に際しては、3 クラブそれぞれの会長幹事会に参加し、各クラブの素晴らしい活動や奉仕をガバナーにお伝えし、高い評価をいただけたことを嬉しく思いました。また、3 クラブとも R I への年次寄付や会員増強などについても、お褒めの言葉をいただきました。

ガバナー補佐として、それぞれのクラブに表敬訪問、クラブ協議会に二度ずつ出席させて頂き、R I 会長の方針や佐藤ガバナーの先進的な考えをお伝え出来たことは、とても良かったと思います。

I M については今期実行できませんでしたが、来期佐沼クラブ主催で開催されることが決まっております。石巻 3 クラブとしても強力に応援し、第 5 分区のさらなる交流につながれば幸いと考えております。



第5分区

濁沼 栄一
(栗駒 RC)

月日の経過時間の速さは年齢に比例するといわれますが、ガバナー補佐を拝命したこの一年間、就任時にはこれまで多くの先輩方が繋いで来られたように佐藤剛ガバナーの思いを各クラブにしっかりとお伝えしながら各クラブと地区を繋いでいきたいと思いましたが、十分に出来得なかった一年であった事反省しています。

私共の第 5 分区登米・栗原ゾーンは佐沼、築館、栗駒、若柳の 4 クラブですが、今年度、築館クラブと佐沼クラブがクラブ結成 60 周年を迎え、それぞれに盛大な記念式典を開催することができました。

記念式典にご出席いただきました、佐藤剛ガバナーをはじめとする地区役員の皆様、地区内来訪クラブの皆様に改めて感謝を申し上げます。

これからも、第 5 分区登米・栗原ゾーン 4 クラブが互いに連携しクラブ間の交流を深め、お互いの「生業を大事」にしながら「手に手つないで」「奉仕の理想」に向かって邁進してまいります。

地区内の皆様には、今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。ご協力、ありがとうございました。



第6分区

望月 俊一
(古川 RC)

分区内4クラブのガバナー公式訪問は7月に行われることとなり、年度が始まって間もない時期のガバナー補佐訪問となりましたが、各クラブとも年次計画書を早期にご用意いただき、ガバナー公式訪問まで滞りなく進められました。

7月4日は加美・岩出山クラブ合同による公式訪問及びガバナーの講話、7月30日は古川・古川東クラブ合同による公式訪問及びガバナーの講話と懇親会が行われ、どちらも会員はガバナーの話に引き込まれ、時間が経つのも忘れて聞き入りました。

また、ロータリーデーにおいては、各クラブの社会奉仕活動の一環として、地域での清掃や花壇整備など、ローターアクト、インターアクトと連携のもと行われました。

そして、第6分区大崎ゾーンのIMは本年1月25日、「日本語学校を核とした多文化共生のまちづくり」をテーマに、4月開校の大崎市立おおさき日本語学校から講師を迎えて開催しました。同校が目指す教育方針や多文化共生の理念などについて理解を深める、タイムリーな機会となりました。

佐藤剛ガバナーが常に訴えてきた「固定観念からの脱却」、「内向きにならず外にも目を向けよう」という、明るく前向きな姿勢はロータリアンにストレートに届いたと思います。佐藤剛ガバナーには厳しい体調にありながら無事に任務を全うされて本当によかったです。1年間大変お疲れ様でした。大崎ゾーン各クラブの皆様にもお世話になりありがとうございました。



第6分区

大町 睦夫
(七ヶ浜 RC)

私が担当したのは、塩釜・塩釜東・大和・多賀城・松島・利府・七ヶ浜の7つのロータリークラブ(RC)です。

ガバナー公式訪問については4クラブが単独開催、残りの3クラブは合同での開催となりました。私の考えですが、公式訪問はクラブごとに単独で実施するのが良いと思っており、といいますのは、会員減少が合同開催となる大きな理由だと思っております。ひとつのクラブとして、ガバナー公式訪問を単独でやり遂げる達成感を味わうべきだと思います。

会員5名のクラブであっても、毎週の例会には奥さんを同伴し、ロータリーソングを斉唱し、四つのテストを唱和し、全員でプログラムを消化して、最後においしい食事をして解散するという、常に出席率200%(奥さんも含む)で和気あいあいとしたクラブ例会を行っているのが日本三景のひとつ松島で活動する「松島 RC」です。ぜひ一度、メークアップされることをお勧めいたします。

佐藤剛ガバナーは、どのクラブにおいてもフレンドリーで大らかであり、「固定観念・既成概念からの脱却」といったメッセージを通じて分区内のロータリアンの心に訴えかけ、「まず形から入ってみよう」と提唱されたことがよかったと思っております。

ガバナー補佐を拝命した当初は不安でいっぱいでしたが、私ども松塩ゾーンのロータリアン諸君が協力的で理解のある方々が多かったこともあり、無事に年度を全うできたかなと感じています。皆さんありがとうございました。



第7分区

鎌田 善幸
(仙台泉 RC)

2024-25年度佐藤剛ガバナーのもと、第7分区青葉ゾーンガバナー補佐として一年間務めさせていただきました。

昨年4月に奥州市水沢で開催されたガバナー補佐会議において、佐藤剛ガバナーより活動方針の説明を受けたことをスタートとして、最初のクラブ訪問として6月に仙台青葉 RC のクラブアッセンブリーに参加させていただきました。その後7月の仙台 RC へのガバナー公式訪問へと続き、仙台冠 RC、私の所属クラブである仙台泉 RC、そして仙台レインボー RC とゾーン内の各クラブをガバナーと共に訪問させていただきました。

これらの訪問を通じて強く感じたことは、各クラブがそれぞれの歴史や特色があり、そ

の中で様々な課題を克服するために、真摯にロータリー活動と向き合っているということ、そしてどのクラブも個性的で魅力的なクラブであるということでした。この間にお会いした方々との交流や懇親を通じて素晴らしい体験ができたことは、私にとって大きな財産になりました。

さらに、佐藤剛ガバナーのロータリーへの情熱やその行動のアグレッシブさ、そして実は非常に温かく細やかな配慮をされる方だということを実感して感銘を受けました。

一つ後悔することがあるとすれば、私事によりインターシティミーティングに参加できなかったことです。本当に申し訳ございませんでした。

しかしながら、佐藤剛ガバナーはもとより、各クラブの会長、幹事をはじめとする地区内会員の皆様のご支援とご協力のおかげで何とかこの大役を務めることができました。皆様には深く感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



第7分区

和田 達雄
(仙台南 RC)

ガバナー補佐として一番の思い出は、ガバナー公式訪問に同席できガバナーの想いを沢山聞いた事。ワクワクしっぱなしでした。そして、公式訪問前の事前訪問の体験。各クラブの温かいおもてなしはもとより、例会運営からクラブの活動方針や奉仕活動、雰囲気など各クラブそれぞれの違いや良さを肌で感じることができ、改めてロータリーの素晴らしさを実感できました。また、ガバナー補佐として出席させて頂いた周年行事や交流会での貴重な経験。奉仕や平和に対する熱い思いに触れることができ、感謝しかありません。

唯一心残りだったのは、担当する IM の当日母が亡くなり参加できなかったこと。仙台奥羽ロータリークラブ主幹での新たな IM を共に体験したかったです。

最後に、担当させて頂いた広瀬ゾーンの 7 クラブの皆様、佐藤ガバナー、一年間本当にありがとうございました。素晴らしいクラブばかりでした。頼りないガバナー補佐ではありましたが、多くを学ぶことができこれからのロータリー活動に役立てていければと思っています。私を支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。



第8分区

早坂 正実
(巨理 RC)

2024-2025 年度第 8 分区阿武隈ゾーンガバナー補佐を務めさせて頂いたこの一年を振り返り、ご協力を頂いた皆様に心から感謝申し上げます。この一年は私にとって非常に充実した時間であり、多くの学びと喜びを得る事が出来ました。

まず、7 月から 8 月にかけて行われたガバナー公式訪問においては、佐藤剛ガバナーや代表幹事が各クラブの皆様と直接お会いし、阿武隈ゾーン 5 クラブの状況やクラブ活動内容について詳しくお話を伺うことが出来ました。これによりクラブの皆様の熱意や地域社会への貢献活動の素晴らしさを実感し、私自身も大きな励みとなりました。

ガバナー補佐訪問では阿武隈ゾーン 5 クラブの活動支援や事業内容について積極的に関わらせて頂きました。特に地域・社会貢献事業においては地域のニーズに応えるため、様々な取組みをサポートし地域社会の発展に寄与できる様努めて参りました。具体的には、清掃活動、福祉支援、子ども食堂への食材提供など、多岐にわたるプロジェクトを各クラブで推進しており、多くの会員の皆様の協力を得て実施することが出来ました。

ロータリーデーや、2025 年 3 月に蔵王ゾーン村田 RC 主管で加藤雄彦ガバナーエレクトにお越し頂いてインターシティミーティング (IM) を開催し、第 8 分区蔵王ゾーン・阿武隈ゾーンのクラブ間交流に積極的に参加し、連携と情報共有を深めることが出来ました。また、2 ヶ月に 1 度阿武隈ゾーン各クラブ持ち回りで会長幹事会を実施し、5 クラブの活動の状況や近況報告、問題点等を共有し、6 月には新旧会長幹事会の引継ぎを行い一年の締めくくりをしましたが、ロータリークラブを通じて社会に対して果たす役割の重要性を再認識し、協力の輪が広がったと感じました。

この一年を振り返ると、クラブの皆様の熱意と協力のお陰で多くの成果を上げる事が出来ました。充実した一年となり感謝申し上げます。有難うございました。



第8分区

小川 隆秀
(村田 RC)

1 年間とは本当に早いものです。考えてみますと、2023 年 12 月の初めに次期ガバナー補佐会議があり、同志の方々との顔合わせからスタートいたしました。2024 年 2 月には地区チーム研修セミナーがあり、緊張をして勉強をしたことが懐かしく思い出されます。そして、7 月のスタートとなり、ガバナー公式訪問の準備にとりかかりました。事前に担当クラブの訪問を行い、公式訪問に当たっての対応について打合せを行いました。ガバナーからは、公式訪問時の服装などについて要望があり、「DEI の精神」についてガバナーの気持ちを各クラブの皆さんにご理解をいただいたことがありました。7 月に白石 RC、8 月に大河原 RC、柴田 RC、村田 RC の 3 クラブ合同の公式訪問を終えて、ガバナー補佐の一番大きな役割を果たすことが出来ました。

また、第 8 分区の今年度の IM の担当が蔵王ゾーンであり、担当クラブが村田 RC でしたので、その準備が大変でした。まずは、自クラブの会員の支援をいただいて、テーマの選定や、会場の予約などに精力を注ぎました。さらに、阿武隈ゾーンとの事前打合せを行い、テーマや開催場所などを説明し、ご協力をいただきました。

なお、当日は佐藤ガバナーが北陸方面の出張と重なり、加藤ガバナーエレクトのご出席をいただき、各クラブから熱意ある発表があり、盛会のうちに終えることが出来ました。

そして、小生が所属する「RLI 委員会」のファシリテーターとしての役割があり、2024-2025 年度の RLI 研修の開催に合わせて活動をいたしました。

お陰様で、各クラブの皆様とのたくさんの交流が出来ましたことに深く感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

結びにあたり、佐藤剛ガバナーの病を吹き飛ばすご活躍に、不撓不屈の精神の神髄を垣間見ることが出来、深い感動を受けました。今後ともこの絆を大事に行きたいと思っております。ありがとうございました。

委員長あいさつ ～一年を振り返って～



クラブ奉仕委員会

菊池 忠彦
(花巻南 RC)

2024 (令和 6) 年 6 月 1 日、「2024-2025 年度地区研修・協議会」において、クラブ奉仕委員会・社会奉仕委員会・職業奉仕委員会の 3 委員会で合同分科会を担当いたしました。

地区の年次目標達成のために、そして活気あるクラブづくりのために、各クラブのクラブ奉仕分野で、次の項目に重点をおいて活動いただくようお願いいたしました。

○会員増強、出席率向上に、DEI (多様性・公平さ・インクルージョン) の考え方で取り組む。
○ロータリークラブの特徴である「職業分類」を活かし、例会での会員卓話では、自分の職業について語る。

○ロータリーの知識を得る手段として「My ROTARY の登録率の向上」を、会議進行について学ぶ機会として「RLI 研修の受講率の向上」を図る。

第 2520 地区の My ROTARY の登録率は、2024 年 12 月時点で 39.18%。年度初めより約 2%アップいたしました。今年度より、「3-year Targets」が始まっており、今後ますます My ROTARY が活用されると思われます。各クラブでの取り組みを引き続きお願いいたします。

「クラブ奉仕」は、5 大奉仕の中では、クラブ内部での奉仕です。分かるようで分から

ないのが、クラブ奉仕かと思います。セミナーは開催しませんでした、YouTube にアップされている、第 2800 地区の鈴木一作パストガバナーのお話がわかりやすいように思います。各クラブの新入会員向けの勉強会などで、ぜひご覧いただきたいと思います。



社会奉仕委員会

鈴木 誠

(多賀城 RC)

2024-2025 年度地区社会奉仕委員会に関しまして、一年間大変お世話になりました。今年度社会奉仕委員会では、ロータリーデーに各クラブの皆様方と共に地域の清掃活動を行いました。多くのクラブの皆様方にご参加賜り大変有難く思っております。委員会としても第 2520 地区の皆様方と一緒に同じ時間に清掃を行い社会に奉仕出来たことは、非常に意義のある事と思っております。また、仲間や地域の皆様と共に汗をかき体を動かし、活動した後は、心地よい感じにもなれました。これからもロータリー活動として色々な形で社会に奉仕していきたいと考えております。

また、2 年にわたり能登半島地震に関しまして、皆様方にご支援頂きました。支援金に関しましては、第 2520 地区より能登の地区の方にお渡しをして頂く事と致しました。地区のローターアクトのメンバーの皆様方にはご協力を頂き大変感謝いたします。今後も色々な形で社会に貢献しながら、奉仕していきたいと思っております。

最後に一年間社会奉仕委員会を支えてくださいました委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ、委員会報告とさせていただきます。



職業奉仕委員会

時 準雄

(仙台泉 RC)

昨年に引き続き地区職業奉仕委員長を拝命し、自分の力不足と浅学非才に気づかされる一年でした。しかし、副委員長である塩釜 RC の鈴木文夫さん、委員である仙台泉 RC の高橋渉さんからご協力を得て、何とか委員会を運営することが出来ました。

ロータリーにおける崇高な奉仕の精神は「多名一心」であります。仏教学者の中村元氏が著書の中で、ラテン語の「ドネーション」は寄贈・貢献などと訳されますが、古代インドのサンスクリットにも同じ語源を持つ「ダーナ」ということばが有ると説きます。「ダーナ」は布施（ふせ）です。見返りを求めない行為と訳されます。洋の東西を問わず社会への貢献を表す言語が底通することに驚かされます。

ロータリーの職業奉仕の理念である「世のため、人のために奉仕する心をもって、職業を営むべし」が全てを語っているようです。全てのロータリアンが常に職業倫理を胸に職務に向かうことを願っております。

結びに、今回の好機会をお与え下さいました佐藤剛ガバナーに心より御礼申し上げます。



RLI委員会

小池 康浩

(仙台泉 RC)

今年度は、11 月 23 日にパート 1、3 月 22 日にパート 2、そして 5 月 10 日にパート 3 と 3 回の研修を実施しました。いずれも、いわて県民情報交流センター（アイーナ）で行われました。盛岡駅からほど近く参加者にとっては便利な会場であったと思います。

各回の参加者数は、パート 1 が 54 名、パート 2 が 35 名、そしてパート 3 が 33 名でした。特にパート 1 では多くの方々にご参加いただき、ロータリー活動に対する熱意の高さを感じることができました。

ディスカッションでは参加者の皆様が発言に意見を交わし、ロータリーの理念や実践的な知識について深い理解を深めることができました。また、参加者同士の交流が図られたのも大きな成果でした。

3 回の研修を通じて、34 名がめでたくご卒業されました。今後のロータリー活動においてリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献していくことを期待いたします。

この活動が実現できたのも、ガバナー事務所の皆様、ファシリテーターの皆様のご尽力とご協力のおかげです。特にファシリテーターの皆様には、各回のディスカッションを円滑に進め、参加者一人ひとりが学びを深められるようにご尽力いただきました。

心より感謝申し上げます。



会員増強・戦略計画
委員会

鈴木 俊一
(仙台南 RC)

佐藤剛ガバナーは、第 2520 地区のロータリアンの会員増強の計画として、年度初めの 1,971 名を年度末までに 2,200 名に増強すると目標を設定されておられました。

その実現のために、委員会の活動としてはまず地区内の状況を把握するため、各クラブへアンケートを依頼し、ご意見ご希望や現状の集計を致しました。その結果は、ガバナーへ報告致しております。

委員会メンバーは、地区研修・協議会や所属クラブにおきまして、会員増強と戦略的計画推進の必要性を訴え続けました。また、ご依頼をいただいたクラブの例会へ出席して、新しいクラブや衛星クラブ、若い世代のローターアクトクラブの結成もお勧め致しました。結果として、地区内の会員数はほぼ横ばいですが、今年度の戦略的な活動が、次年度へ向けて大きな成果が上がりそうな報告を続々といただいております。

今後、新しいクラブの結成の計画や各クラブの会員増強が成功するためには、地区ロータリアンの皆様次第とも思われますので、引き続き会員増強の意識と活動をお願い致します。



公共イメージ向上・
DEI推進委員会

加藤 幹夫
(仙台北 RC)

今年度、ステファニー A. アーチック R I 会長は、クラブが好ましい変化をもたらす方法は DEI の原則を取り入れることと述べ、佐藤剛ガバナーは、参加基盤を広げるために「DEI を大切にしてインクルーシブに行動する」ことと「ロータリーの認識と理解を高め、公共イメージ向上につなげる」を掲げ、委員会活動が始まりました。

公共イメージ向上・DEI 推進委員会の委員長として一年間の活動を振り返ると、それぞれのロータリークラブが様々な形で取り組むべき課題に対し、公共イメージ向上と DEI について学ぼうとする意欲が高まってきたと感じています。卓話の依頼も増えました。委員会の活動は斎藤正人副委員長を中心に、Zoom による委員会を行い委員間の交流を図りました。多様性や公平性など、DEI は会員拡大につながる重要な手段になると考えていますので、ロータリアンの皆さんのクラブ内での議論を期待しています。

最後に、今年度委員会を支えてくれた斎藤正人副委員長と、委員の皆様の活動に感謝申し上げます。



国際奉仕委員会

國分 敏彦
(二戸 RC)

年度の始まりは、委員長の突然の辞任という予期せぬ出来事から始まりました。私が副委員長から委員長へと繰り上がり、一年間どのように委員長として活動していくべきかを考えていたところ、佐藤ガバナーが記された「2003 年 4 月 13 日に姉妹地区協定締結書を交わした第 2520 地区と第 3640 地区の国際親善の精神にのっとり、相互の理解を深め、友好関係を誓い合った」という言葉を改めて読み返しました。その言葉に触れ、委員長として自分にできる範囲で締結書の内容を理解し、行動していこうと決意いたしました。

委員の皆様とも話し合い、単なる交流にとどまらず、第 2520 地区と第 3640 地区の両地区で何かをやりたい、やろう、という事で決まり、その「何か」は加藤ガバナー年度に引き継ぐことになりました。今年度の取り組みの成果は、数年後に形となって現れるものと思っています。

一年間に亘りご協力いただいた委員の皆様、事務局の皆様、そして第 2520 地区・第 3640 地区の皆様にご心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



青少年奉仕委員会

早坂 竜太

(古川東 RC)

地区青少年奉仕委員会では、所属する各小委員会のご尽力により、今年度も精力的な活動が実施されました。

7月のインターアクト年次大会を皮切りに、ローターアクトでは前期・後期会長幹事会、清掃ボランティア、第1エリア内の代表者らによる合同会議を仙台にて開催しました。また、5月末の年次大会では、次年度に向け更なる結束を誓いました。

今年度のRYLAは、「コミュニケーションの達人になろう」のテーマの下、仙台での日帰り研修を開催しました。専門講師による研修は、ワークショップを多彩に織り交ぜた参加型で、青少年とロータリアン約40名が楽しみながら学ぶことができ好評を得ました。

青少年交換では、長期生2名、短期生5名を選出するための選考会を行い、全7名に対するオリエンテーションを3回実施しました。短期派遣生は3月に約2週間の派遣、短期来日生6名と団長・副団長2名は6月に約2週間に亘り地区内で受け入れしました。長期についても派遣生2名、来日生2名（1名早期帰国）を交換し、今年度に選考された長期派遣候補生2名は次年度初めに派遣する予定です。

各小委員会の委員、関係皆様をはじめ、特に青少年交換プログラムでは、ホストクラブ・ホストファミリー・ホストスクールなど多くの皆様に多大なるご尽力とご協力を頂きましたことに、改めて深く感謝しご報告と致します。



ロータリー財団委員会

伊藤 智仁

(花巻南 RC)

皆様に寄付を呼び掛けるのは、財団委員長の大変な役目です。ロータリー財団では、一人あたり年次寄付100ドル、ポリオ・プラス30ドル、そして「寄付ゼロのクラブをゼロにする（ゼロクラブゼロ）」などの目標を掲げています。

一方、昨今は、DEIを重視して、寄付の強要などしてはならないとする指導もあります。この矛盾に板挟みになり、私がたどり着いた答えは、ロータリーに関わって得られるメリットがおざなりになっていることでした。そのメリットとは、ひとえにリーダーシップを研鑽する機会です。

適切なリーダーシップを発揮できれば、自らの生業はもとより、関わる組織の運営も上手くなります。ロータリーは、健全な生業が集まった社会づくりを目指しており、その仕組みやプログラムを見返すと、リーダーシップの醸成に合致するものばかりです。ロータリーで得られる研鑽の機会を無駄に はいけません。「四つのテスト」が心を正すのもメリットでしょう。生業が社会に役立ち、その対価を得られたならば、それに応えるのが寄付です。因みに、ビルゲイツが、ポリオ・プラスに莫大な寄付をするのもIT事業の大成功に対する社会への恩返しだと思います。なお、ゲイツ財団がポリオ・プラスをPRしているのは見たことがありません。

ロータリアンが積極的にロータリーのメリットを追えば、自然と寄付に目が向くと思います。



米山記念奨学会委員会

白鳥 淳

(築館 RC)

皆様ご存じのように、当委員会は奨学生の支援と、その財源の裏付けである寄付金を募る役割を担っております。

奨学生の為のプログラムは、オリエンテーション、研修旅行、リンゴ狩り、歓送会等ですが、有意義に日本文化を理解していただく事が出来ました。また、世話クラブの会員の皆様方とも素晴らしい出会いと交流があったと報告を受けております。

多くのクラブの皆様と交流の機会を与えられるよう、今年度は奨学生受入についてアンケートを実施いたしました。予想以上に受入を希望するクラブが多く、今回受け入れて貰うことが出来なかったクラブには申し訳なく思っております。地区に割り当てられる奨学生数について簡単に説明すると、3年前年度の寄付金額により算定されます。割り当て人

数に応じて指定校へ応募者数を通知し、ガバナーと正副委員長で書類選考・個人面接試験を経て奨学生として採用されます。奨学生は、学内選抜から始まり、多くの試験を通過した優秀な学生であることは間違いありません。彼らが将来、母国と日本の重要な交流の要として活躍することを願っております。一人でも多くの奨学生を支援できるよう、前年度よりは今年度さらに次年度と、前の年度以上の寄付金拠出の協力と当事業への理解をお願い致します。



危機管理委員会

天沼 久純
(盛岡南 RC)

一年間お世話になりました。2024-25 年度は危機管理委員会を招集することなく、無事に年度を終了することができました。会員の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

今年度は、RIJYEM 主催の危機管理セミナーに何度も出席させていただき、危機管理の必要性を改めて認識する機会となりました。事案発生時の対応方法について、マニュアルを通じてわかりやすく説明していただき、大変有意義な学びとなりました。

RIJYEM では青少年に対するハラスメントに対して厳しく規定していますが、現代社会においては、会員間のトラブルや、SNS を介したトラブル、さらには自然災害の頻発など、多くの課題が存在しています。

当地区においても、危機管理の重要性を、会員一人ひとりが自覚して行動する必要があります。そこで、毎年開催される会長エレクトラーニングセミナー等において、危機管理セミナーを実施していきます。また、各クラブにおかれましても、危機管理委員会の設置と、対応マニュアルの整備をぜひご検討いただきたいと思います。

以上、2024-25 年度の活動報告とさせていただきます。

ロータリー財団 第 2520 地区 2024-2025 年度 DDF 使用状況

DDF（地区財団活動資金）：District Designated Fund

3 年前の地区の年次寄付の 50% が DDF として地区の財団活動資金（人道、奨学金ほか）として使用できます。

なお、2021 年 7 月以降の寄付（2024-25 シェア）から DDF の配分は 47.5% となります。

単位：ドル

項 目	入	出	残
DDF（2021-2022 年度年次寄付の 47.5%）	82,350.97		
恒久基金の使用可能な収益の 50%	7,028.17		
2020-2021 年度からの繰越し	28,787.16		
2023-2024 年度からの繰越し	7,840.26		
返金：DG 2561860（2024-2025 年度）未使用分	4,828.56		130,835.12
寄贈：ロータリー平和センター（地区基金設立）		28,787.16	
DG 2561860（13 プロジェクト）		44,633.00	
GG 2466933（母子家庭を対象に医療サービスと教育支援の提供 / D.3640 との事業）		1,500.00	
DDF 残（2025-2026 年度へ繰り越し）			55,914.96

* DG：地区補助金 * GG：グローバル補助金

第 2520 地区 2024-2025 年度クラブ別会員数

分 区	ロータリー クラブ名	2024/6/30		年度中異動				増減		2025/6/30	
		会員数(内女性)		入会(内女性)		退会(内女性)		増減(内女性)		会員数(内女性)	
第一 分 区	久 慈	23	(1)	2	(0)	2	(0)	0	(0)	23	(1)
	二 戸	43	(4)	3	(1)	3	(1)	0	(0)	43	(4)
	種 市	17	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	17	(0)
	盛 岡	66	(2)	12	(0)	11	(0)	1	(0)	67	(2)
	盛 岡 北	32	(3)	4	(0)	2	(0)	2	(0)	34	(3)
	盛 岡 西	16	(1)	2	(1)	3	(0)	-1	(1)	15	(2)
	盛 岡 南	41	(0)	8	(1)	5	(0)	3	(1)	44	(1)
	盛 岡 東	24	(3)	3	(0)	2	(1)	1	(-1)	25	(2)
	盛 岡 中央	23	(4)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	23	(4)
	盛 岡 西北	39	(5)	5	(0)	4	(0)	1	(0)	40	(5)
第二 分 区	盛岡滝ノ沢	4	(3)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	4	(3)
	花 巻	31	(2)	1	(0)	3	(0)	-2	(0)	29	(2)
	花 巻 南	30	(1)	1	(0)	2	(0)	-1	(0)	29	(1)
	花 巻 北	41	(1)	1	(1)	3	(0)	-2	(1)	39	(2)
	北 上	33	(3)	7	(1)	3	(0)	4	(1)	37	(4)
	北 上 西	17	(3)	2	(1)	0	(0)	2	(1)	19	(4)
	北上和賀	20	(3)	3	(1)	2	(0)	1	(1)	21	(4)
	岩 谷 堂	10	(0)	0	(0)	10	(0)	-10	(0)	0	(0)
	前 沢	11	(0)	0	(0)	1	(0)	-1	(0)	10	(0)
	水 沢	14	(1)	3	(0)	2	(0)	1	(0)	15	(1)
第三 分 区	奥州水沢東	31	(4)	2	(0)	3	(1)	-1	(-1)	30	(3)
	花 泉	10	(2)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	10	(2)
	平 泉	11	(0)	0	(0)	1	(0)	-1	(0)	10	(0)
	一 関	12	(1)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	13	(1)
	一関中央	15	(6)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	15	(6)
	大 船 渡	29	(1)	2	(1)	5	(0)	-3	(1)	26	(2)
	大船渡西	28	(5)	5	(0)	3	(0)	2	(0)	30	(5)
	陸前高田	17	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	17	(0)
	千 厩	23	(2)	0	(0)	1	(0)	-1	(0)	22	(2)
	気 仙 沼	20	(0)	1	(0)	2	(0)	-1	(0)	19	(0)
第四 分 区	気仙沼南	37	(2)	1	(0)	4	(1)	-3	(-1)	34	(1)
	釜 石	15	(1)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	15	(1)
	釜 石 東	27	(2)	4	(1)	2	(0)	2	(1)	29	(3)
	大 槌	6	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	6	(0)
	遠 野	8	(2)	2	(0)	0	(0)	2	(0)	10	(2)
	宮 古	31	(4)	0	(0)	5	(1)	-5	(-1)	26	(3)
	宮 古 東	22	(1)	2	(0)	4	(0)	-2	(0)	20	(1)
	山 田	20	(1)	1	(0)	2	(0)	-1	(0)	19	(1)

ローターアクト クラブ名	2024/6/30		2025/6/30	
	会員数(内女性)		会員数(内女性)	
宮古 RAC	5	(3)	5	(3)
古川東 RAC	10	(3)	7	(2)
仙台 RAC	3	(3)	2	(2)
仙台東 RAC	21	(8)	24	(7)
計	39	(17)	38	(14)

分 区	ロータリー クラブ名	2024/6/30		年度中異動				増減		2025/6/30	
		会員数(内女性)		入会(内女性)		退会(内女性)		増減(内女性)		会員数(内女性)	
第五 分 区	石 巻 東	39	(0)	3	(0)	1	(0)	2	(0)	41	(0)
	石 巻 西	33	(2)	1	(0)	5	(1)	-4	(-1)	29	(1)
	石 巻 南	17	(1)	3	(0)	1	(0)	2	(0)	19	(1)
	栗 駒	13	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	13	(1)
	築 館	19	(1)	1	(1)	2	(0)	-1	(1)	18	(2)
	佐 沼	53	(5)	5	(1)	5	(1)	0	(0)	53	(5)
第六 分 区	若 柳	25	(6)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	25	(6)
	古 川	40	(3)	3	(1)	2	(1)	1	(0)	41	(3)
	古 川 東	38	(1)	5	(0)	5	(0)	0	(0)	38	(1)
	岩 出 山	11	(1)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	11	(1)
	加 美	13	(0)	4	(0)	4	(0)	0	(0)	13	(0)
	大 和	5	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	(0)
	松 島	5	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	(0)
	塩 釜	27	(1)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	27	(1)
	塩 釜 東	11	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	11	(1)
	多 賀 城	22	(2)	1	(0)	3	(0)	-2	(0)	20	(2)
第七 分 区	利 府	8	(1)	0	(0)	1	(0)	-1	(0)	7	(1)
	七 ケ 浜	13	(0)	2	(0)	4	(0)	-2	(0)	11	(0)
	仙 台	117	(6)	15	(1)	22	(1)	-7	(0)	110	(6)
	仙 台 泉	50	(1)	6	(2)	2	(0)	4	(2)	54	(3)
	仙台青葉	36	(0)	10	(0)	2	(0)	8	(0)	44	(0)
	仙 台 冠	11	(2)	10	(2)	2	(0)	8	(2)	19	(4)
	仙台レインボー	7	(2)	4	(1)	1	(0)	3	(1)	10	(3)
	仙 台 南	43	(3)	8	(0)	6	(0)	2	(0)	45	(3)
	仙台南-白石R龍聖	19	(9)	0	(0)	1	(1)	-1	(-1)	18	(8)
	仙 台 北	57	(1)	7	(1)	5	(0)	2	(1)	59	(2)
第八 分 区	仙 台 東	54	(0)	3	(0)	6	(0)	-3	(0)	51	(0)
	仙 台 西	40	(1)	2	(0)	4	(0)	-2	(0)	38	(1)
	仙台宮城野	33	(3)	0	(0)	4	(2)	-4	(-2)	29	(1)
	仙台奥羽	22	(3)	5	(2)	3	(1)	2	(1)	24	(4)
	岩 沼	26	(2)	1	(0)	2	(0)	-1	(0)	25	(2)
	名 取	41	(4)	2	(1)	8	(2)	-6	(-1)	35	(3)
	亘 理	11	(0)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	11	(0)
	角 田	14	(0)	2	(0)	1	(0)	1	(0)	15	(0)
	丸 森	14	(0)	0	(0)	1	(0)	-1	(0)	13	(0)
	白 石	15	(1)	3	(0)	0	(0)	3	(0)	18	(1)
第九 分 区	柴 田	19	(0)	0	(0)	1	(0)	-1	(0)	18	(0)
	村 田	13	(1)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	13	(1)
	大 河 原	30	(4)	3	(1)	3	(1)	0	(0)	30	(4)
	計	1,961	(143)	193	(23)	203	(16)	-10	(7)	1,951	(150)

* 2025 年 6 月 30 日 岩谷堂 RC は国際ロータリーを脱会

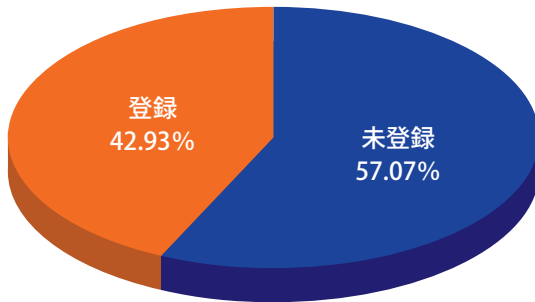
第 2520 地区 My ROTARY アカウント登録状況

2025 年 6 月 30 日現在	ロータリークラブ会員数	1,966 名	アカウント登録者数	837 名	42.57%
	ローターアクトクラブ会員数	42 名	アカウント登録者数	25 名	59.52%
	合 計	2,008 名	アカウント登録者数	862 名	42.93%

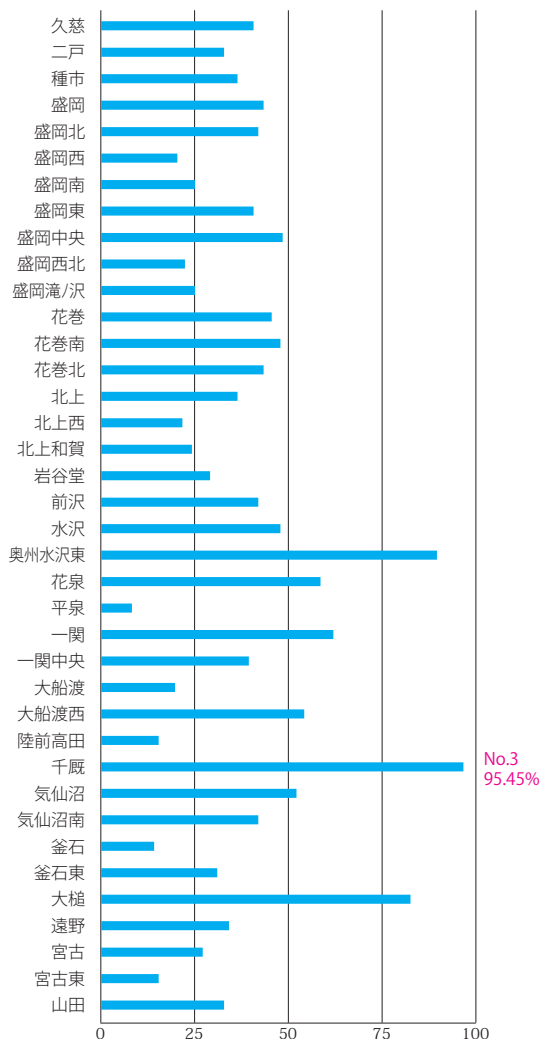
地区・クラブ運営のために、地区・クラブ役員は MyROTARY のアカウント登録が必要です。

MyROTARY のアカウントは、公式名簿（MyROTARY 上のクラブ会員名簿）に登録されているメールアドレスで作成してください。別のメールアドレスでアカウントを作成すると、ロータリー会員であるという紐づけができません。

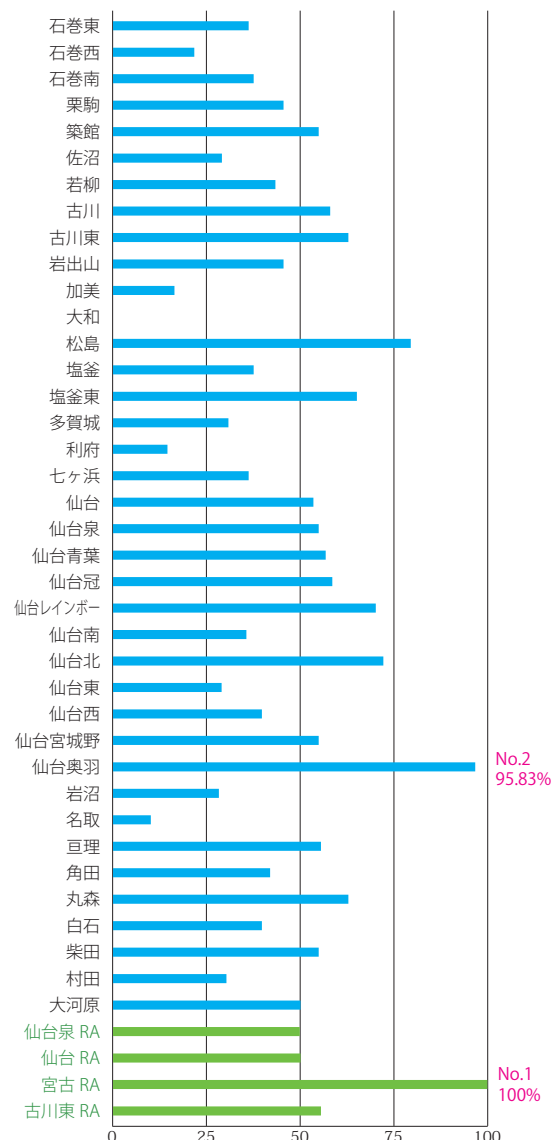
ロータリーの情報を得るための便利なツールである MyROTARY をぜひご活用ください。



登録割合の推移			
年度	日付	登録割合	
2018-19 年度	2019.3.11	19.7%	
2019-20 年度	2020.1.14	26.3%	
2020-21 年度	2020.12.3	29.12%	
2021-22 年度	2022.6.30	31.74%	※ RAC 含む
2022-23 年度	2023.2.22	32.66%	※ RAC 含む
2023-24 年度	2024.6.10	37.45%	※ RAC 含む
2024-25 年度	2024.12.19	39.18%	※ RAC 含む
2024-25 年度	2025.6.30	42.93%	※ RAC 含む



2025 年 6 月 30 日現在
My ROTARY アカウント登録率



新入会員紹介

盛岡 RC



たなかひろし
田中 和
2025.6.6 入会
医薬品配布

遠野 RC



ささきあつし
佐々木 敦
2025.5.22 入会
土木・林業

石巻 RC



たなかけんたろう
田中 健太郎
2025.4.22 入会
生命保険

佐沼 RC



おかもとたかゆき
岡本 哲志
2025.5.8 入会
建築業

古川東 RC



ささきみちやす
佐々木 康徳
2025.4.22 入会
電気事業

仙台 RC



わたなべよしひろ
渡邊 能宏
2025.5.27 入会
米穀卸

仙台泉 RC



かまたやすひろ
鎌田 安弘
2025.5.8 入会
塗装・外構

仙台泉 RC



わのてるみ
野 輝美
2025.5.8 入会
電気工事

仙台泉 RC



しみずしろう
清水 俊弘
2025.6.19 入会
警備保障

仙台泉 RC



おshimaまなみ
大島 麻奈美
2025.6.19 入会
写真スタジオ

仙台泉 RC



わたなべしんや
渡辺 進也
2025.6.26 入会
経営相談

仙台冠 RC



ちばももこ
千葉 桃子
2025.6.1 入会
教育・ダンススタジオ

仙台レインボー RC



とざわかおり
戸澤 香織
2025.6.6 入会
生命保険

仙台南 RC



きくちしゅうた
菊地 修太
2025.6.5 入会
不動産管理

仙台南 RC



すぎさわけん
杉村 謙
2025.6.12 入会
自動車工業・自動車販売

仙台北 RC



きのしたまさと
木下 眞
2025.6.4 入会
総合建設業・中央

仙台北 RC



やまぐちわたる
山口 渉
2025.6.18 入会
OA 機器販売

仙台北 RC



いのうえさとし
井上 聡
2025.6.18 入会
住宅販売

仙台東 RC



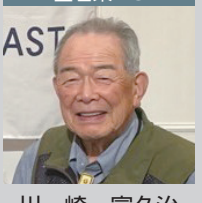
さいとうひろし
佐藤 洋
2025.5.26 入会
公認会計士

仙台西 RC



にっただつや
新田 哲也
2025.5.23 入会
清涼飲料水販売

釜石東 RC



川崎 富久治
2025年6月1日ご逝去
(享年89歳)
1984年10月1日入会

加美 RC



浅野 新一
2025年6月5日ご逝去
(享年75歳)
1998年11月25日入会

【お知らせ】
岩谷堂ロータリークラブは2025年6月30日付で国際ロータリーから脱会しました

退会会員報告

クラブ	氏名	職業分類	退会日	クラブ	氏名	職業分類	退会日	クラブ	氏名	職業分類	退会日
久慈	新淵 宏	薬剤師	2025/6/30	花巻南	岩館 正明	電気配線工事	2025/6/30	水沢	穴戸 宏行	生花業	2025/6/24
久慈	富永 敏弘	一般送配電	2025/6/30	花巻北	伊藤 勝紀	建設業	2025/6/4	奥州氷沢	菅原 文男	土木工事業	2025/6/30
二戸	中村富美子	アイスクリーム製造業	2025/6/30	花巻北	石山雄一郎	生命保険業	2025/6/4	奥州氷沢	野里健太郎	商業銀行	2025/6/30
二戸	大沢 孫蔵	婦人服製造業	2025/6/30	花巻北	高橋 守	ホテル旅館業	2025/6/30	大船渡	岡田 真一	鉄道運輸	2025/5/14
盛岡	海野 尚	住宅建築	2025/6/30	北上	佐藤 一郎	管工事	2025/6/30	大船渡	大庭 裕士	鋳業	2025/5/14
盛岡北	山口 崇	銀行業	2025/6/27	北上和賀	小原 克也	食品工業	2025/6/30	大船渡	崎山 淳史	精密機械	2025/6/10
盛岡西	芳賀 聡	司法書士	2025/6/25	岩谷堂	安部建一郎	建築設計	2025/6/30	大船渡西	橋爪 文人	自動車販売	2025/6/30
盛岡南	駒ヶ嶺正隆	リウマチ科医	2025/6/25	岩谷堂	尾形 正	葬祭業	2025/6/30	大船渡西	門田 崇	衣料品販売	2025/6/30
盛岡南	小林 圭	ホテル業	2025/6/25	岩谷堂	佐々木和司	建設機械メンテナンス	2025/6/30	大船渡西	新沼 達央	スーパーマーケット	2025/6/30
盛岡西北	小松 秀弘	事務用品小売業	2025/6/30	岩谷堂	鈴木 敦	平板印刷	2025/6/30	千厩	千葉 正彦	不動産	2025/6/17
盛岡西北	奥島 繁	社会保険労務士	2025/6/30	岩谷堂	谷藤 榮一	鉄骨工業	2025/6/30	気仙沼	桐ヶ窪 仁	損害保険	2025/6/30
盛岡西北	川上 秀郎	塗装業	2025/6/30	岩谷堂	千田 清一	縫製業	2025/6/30	気仙沼南	安藤 仁	住宅設備機器販売	2025/6/30
花巻	上田 穰	土地家屋調査士	2025/6/30	岩谷堂	三品 健悦	家庭用家具製造・配布	2025/6/30	気仙沼南	齋藤 和代	船舶仕込	2025/6/30
花巻	藤田 直之	信用金庫	2025/6/30	岩谷堂	吉田 勉	ガス圧接	2025/6/30	釜石	似内 勝之	電力事業	2025/6/27
花巻南	嶋 利幸	製材業	2025/6/30	前沢	小野寺 晃	製造業	2025/6/11	釜石東	田中 忠肝	石材業	2025/6/30

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
宮古	石曾根 巧	小売業	2025/6/30
宮古東	飯田 大輔	電気工事業	2025/6/29
山田	小國 嘉明	金属製造	2025/5/31
山田	関 清貴	町議員	2025/5/31
石巻西	佐々木淑子	宿泊飲食業	2025/6/28
石巻南	大塚 敏夫	水産加工	2025/6/29
築館	佐藤 智	農業	2025/6/30
築館	石沢 賢士	印刷業	2025/6/30
佐沼	八谷 郁夫	電気機器製造	2025/5/31
佐沼	佐々木 崇	陶器類販売	2025/6/30
佐沼	遠藤 光則	事務機器販売	2025/6/30
佐沼	原田 桂	生命保険	2025/6/30
古川	松浦 真樹	消化器内科医	2025/6/30
古川東	加藤 智治	ガス製造供給	2025/6/24
古川東	菅原 健	弁護士	2025/6/24
加美	鈴木 雄	土木工事業	2025/6/30
塩釜	鍵 三夫	神道	2025/5/30

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
多賀城	藤田 裕之	NPO 法人	2025/6/30
七ヶ浜	江口 竜也	観光施設運営	2025/6/23
七ヶ浜	今井 達夫	電力供給	2025/6/23
仙台	五十嵐克彦	通信建設業	2025/6/10
仙台	岡山 和裕	中央銀行	2025/6/10
仙台	中村 知久	鉄道建設	2025/6/10
仙台	笹氣光壽郎	印刷	2025/6/24
仙台北	嶺岸 健二	塗装工事	2025/6/30
仙台北	藤澤 信一	保育園	2025/6/30
仙台北	高橋 玲二	税理士	2025/6/30
仙台北	熊谷 一也	自動車工業・自動車販売	2025/6/30
仙台北	加藤 秀次	洗濯	2025/6/30
仙台北	菱沼 清彌	マンション経営	2025/6/30
仙台北	丸崎 勝康	ゴルフ場	2025/6/18
仙台北	大森 繁	タイヤ・チューブ製造販売	2025/6/30
仙台北	荻原 充	私立学校	2025/6/24
仙台北	藤岡 正行	空調・衛生設備工事	2025/5/31

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
仙台北	高橋 敏洋	生命保険	2025/5/31
仙台北	吉野 秀和	飲食業	2025/6/30
仙台北	小松 清治	物販・飲食業	2025/6/30
仙台北	加藤ゆかり	飲食業	2025/6/30
仙台北	上畑日登美	薬局	2025/6/30
仙台北	小原喜久夫	不動産賃貸	2025/6/30
仙台北	成瀬 麻紀	老人福祉	2025/6/30
岩沼	佐藤 直樹	生命保険	2025/6/24
名取	星川 義美	看板制作	2025/6/30
名取	清水 俊克	歯科医	2025/6/30
名取	井上 幸雄	ゴルフ場	2025/6/30
名取	相澤 克志	製材コンサル	2025/6/30
丸森	宮本 昭雄	農業	2025/6/26
大河原	奥林 潔	弁護士	2025/6/30
大河原	上ノ台美穂	芸能	2025/6/30

寄付報告 (5月)

■ロータリー財団

認 証	所属クラブ	氏 名
マルチプル・ ポールハリス・フェロー	宮古 RC	富 谷 猛
	石巻東 RC	山 本 光二郎
	石巻西 RC	小 指 智
	古川東 RC	高 橋 克 幸
	仙台 RC	安 曇 謙 三
ポールハリス・フェロー	花巻 RC	谷 村 るり子

ポールハリス・フェロー	水沢 RC	野 田 公 之
	水沢 RC	小野寺 弘 行
	宮古東 RC	山 崎 佳 一
	石巻東 RC	千 葉 友 宏

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属クラブ	氏 名
米山功労者メジャードナー	仙台北 RC	佐々木 龍 快

佐藤ガバナー年度を振り返って

代表幹事 小野寺 弘行 (水沢 RC)

「私は癌です」——。この衝撃的な告白から始まった佐藤年度。エレクト年度の三大セミナーでは冒頭から容態を公にし、驚き、また心配された方も多かったでしょう。行く先々では自らの体験談を話し、時にはジョークを交え、佐藤ガバナー「らしい」トークで一笑させる場面が印象的でした。

体調が万全ではない中、新年度早々スタートした公式訪問。訪問先では、特に「固定観念」「既成概念」からの脱却、震災支援への恩返し、ロータリー希望の風奨学金への協力などと呼びかけました。

公式訪問では、卓話かビデオ観賞かを選択してもらうことにしたのも一つの特色でした。事前の会長・幹事会で現状を聞き、会員増強や事業計画について具体策をアドバイス。巧みな話術はもちろんのこと、毎回違う内容を伝える卓話は随行者さえも聞き入るほどでした。

夜間例会では大好きなアルコールを控え、可能な限り日帰りとなりました。移動の車中では「健康だったら際限もなく、逆に身体ダメになってたな」と口にし、一緒に笑いました。

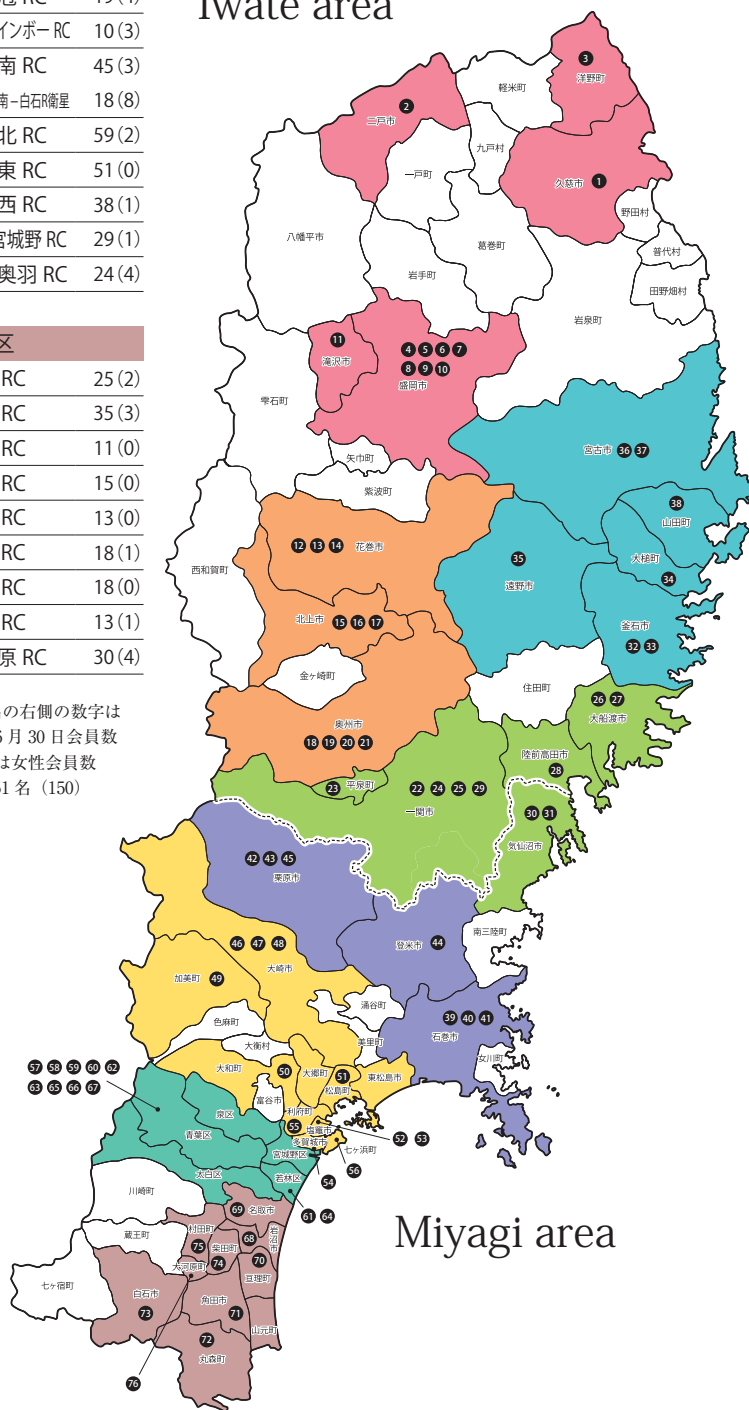
合間を縫って病院での検査も続いておりましたが、公式訪問後も国際大会や周年行事、セミナー等々、多忙な日程をこなし、年末からはいよいよ地区大会準備に入りました。「スマートでコンパクト、楽しい地区大会にしたい」というガバナーは、他地区大会に出席してはその感想を会員に逐一伝達。自身、地元の国際交流協会長も務めていることから、国際色豊かなアトラクション、バイキング料理にしたのもその表われでした。

このほか、大船渡で発生した大規模山林火災では、いち早く義援金の協力を要請。地区内外から約8千万円が集まり、現地へ出向き、被災者を激励しました。

当水沢クラブは佐藤ガバナー含め16人の会員ですが、何とか年間事業を無事終えることができましたのは、地区内外のロータリアン、また地区大会を手伝っていただいた地元コ・ホスト3クラブのお陰です。佐藤年度を支えてくれた皆さまに深く感謝、御礼を申し上げます。

Rotary
District 2520

Iwate area



Miyagi area

第一分区	会員数	第四分区	会員数	第七分区	会員数
1 久慈 RC	23 (1)	32 釜石 RC	15 (1)	57 仙台 RC	110 (6)
2 二戸 RC	43 (4)	33 釜石東 RC	29 (3)	58 仙台泉 RC	54 (3)
3 種市 RC	17 (0)	34 大槌 RC	6 (0)	59 仙台青葉 RC	44 (0)
4 盛岡 RC	67 (2)	35 遠野 RC	10 (2)	60 仙台冠 RC	19 (4)
5 盛岡北 RC	34 (3)	36 宮古 RC	26 (3)	61 仙台レインボー RC	10 (3)
6 盛岡西 RC	15 (2)	37 宮古東 RC	20 (1)	62 仙台南 RC	45 (3)
7 盛岡南 RC	44 (1)	38 山田 RC	19 (1)	63 仙台北 RC	59 (2)
8 盛岡東 RC	25 (2)			64 仙台東 RC	51 (0)
9 盛岡中央 RC	23 (4)			65 仙台西 RC	38 (1)
10 盛岡西北 RC	40 (5)			66 仙台宮城野 RC	29 (1)
11 盛岡滝ノ沢 RC	4 (3)			67 仙台奥羽 RC	24 (4)
第二分区		第五分区		第八分区	
12 花巻 RC	29 (2)	39 石巻東 RC	41 (0)	68 岩沼 RC	25 (2)
13 花巻南 RC	29 (1)	40 石巻西 RC	29 (2)	69 名取 RC	35 (3)
14 花巻北 RC	39 (2)	41 石巻南 RC	19 (1)	70 亶理 RC	11 (0)
15 北上 RC	37 (4)	42 栗駒 RC	13 (1)	71 角田 RC	15 (0)
16 北上西 RC	19 (4)	43 築館 RC	18 (2)	72 丸森 RC	13 (0)
17 北上和賀 RC	21 (4)	44 佐沼 RC	53 (5)	73 白石 RC	18 (1)
18 岩谷堂 RC	0 (0)	45 若柳 RC	25 (6)	74 柴田 RC	18 (0)
19 前沢 RC	10 (0)			75 村田 RC	13 (1)
20 水沢 RC	15 (1)			76 大河原 RC	30 (4)
21 奥州水沢東 RC	30 (3)				
第三分区		第六分区			
22 花泉 RC	10 (2)	46 古川 RC	41 (3)		
23 平泉 RC	10 (0)	47 古川東 RC	38 (1)		
24 一関 RC	13 (1)	48 岩出山 RC	11 (1)		
25 一関中央 RC	15 (6)	49 加美 RC	13 (0)		
26 大船渡 RC	26 (2)	50 大和 RC	5 (0)		
27 大船渡西 RC	30 (5)	51 松島 RC	5 (0)		
28 陸前高田 RC	17 (0)	52 塩釜 RC	27 (1)		
29 千厩 RC	22 (2)	53 塩釜東 RC	11 (1)		
30 気仙沼 RC	19 (0)	54 多賀城 RC	20 (2)		
31 気仙沼南 RC	34 (1)	55 利府 RC	7 (1)		
		56 ケー浜 RC	11 (0)		

※クラブ名の右側の数字は
2025 年 6 月 30 日会員数
() 内は女性会員数
合計 1,951 名 (150)

編集後記

ガバナー月信も最終号となりました。佐藤剛ガバナーは年頭のメッセージにおいて「固定観念」「既成概念」への挑戦を提唱されました。公式訪問の際にも、「思い込みを捨て、ワクワクする行動をしましょう」と呼びかけておられました。これが佐藤剛ガバナーの「The Magic of Rotary」の実践だったのではないのでしょうか。皆様はこの一年間、どのように「魔法の杖」を振られたのでしょうか？

月信の発行にあたりましては、皆様から多くの活動報告・情報提供・ご要望・ご意見をいただきありがとうございました。ガバナー事務所の2名のスタッフの支えもあり、無事刊行を続けることができました。心から御礼

申し上げます。

私自身は月信の編集後記を担当するとともに、ロータリーの友地区代表委員として機関誌の編集に携わりました。ロータリーの友委員会での勉強会や月1回のレポート提出は、配偶者の協力と忍耐に支えられ、良い経験となりました。1年前に「友」への投稿をお願いしましたが、各コーナーに皆様の投稿が掲載され、任務を果たせたと感じております。

皆様の一層のご活躍をお祈り申し上げるとともに、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。ピンクのバラ（花言葉：感謝）を添えて。（月信担当幹事 千田弥生）